

資料第1458号

令和6年度

学校基本調査結果報告

令和7年3月

広島県

目 次

利用者のために

結果の概要

I	概況	1
II	学校調査	
1	幼稚園	15
2	幼保連携型認定こども園	17
3	小学校	19
4	中学校	20
5	義務教育学校	21
6	高等学校	22
7	中等教育学校	27
8	特別支援学校	28
9	専修学校	29
10	各種学校	31
III	卒業後の状況調査	
1	中学校	32
2	義務教育学校	35
3	高等学校	37
4	中等教育学校	40
5	特別支援学校	44
IV	不就学学齢児童生徒調査	
1	不就学学齢児童生徒数	48
	[参考]	
1	広島県の大学、短期大学、高等専門学校の状況	49
2	大学、短期大学の転入出状況	50

統計表

1	総括表	51
2	幼稚園	52
3	幼保連携型認定こども園	54
4	小学校	56
5	中学校	58
6	義務教育学校	60
7	高等学校(全日制・定時制)	62
8	高等学校(通信制)	64
9	中等教育学校	66
10	特別支援学校	68
11	専修学校	70
12	各種学校	72
13	中学校等の卒業後の状況 (中学校、義務教育学校(後期課程)、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校(中学部))	74
14	中学校等の卒業後の高等学校等への進学 (中学校、義務教育学校(後期課程)、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校(中学部))	76
15	中学校等の卒業後の就職 (中学校、義務教育学校(後期課程)、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校(中学部))	78

16	高等学校等の卒業後の状況 (高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部))	8 0
17	高等学校等の卒業後の大学等への進学状況 (高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部))	8 2
18	高等学校等の卒業後の産業別の就職状況 (高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部))	8 4
19	高等学校等の卒業後の職業別の就職状況 (高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部))	8 6
20	高等学校等の卒業後の地域別の就職状況 (高等学校、中等教育学校(後期課程))	8 8
21	不就学学齢児童生徒調査	9 0
22	学校施設調査	9 1

付表

付表 1	年次別園児・児童・生徒・在学者数	9 2
付表 2	年次別進学率・就職率・就園率	9 4
付表 3	大学、短期大学への入学先・出身県別入学者数及び 高等学校、中等教育学校(後期課程)卒業者の就職先・出身県別就職者数	9 5

利 用 者 の た め に

1 調査の概要

(1) 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査の法的根拠

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく文部科学省所管の基幹統計調査（昭和 23 年度から毎年実施）

(3) 調査の期日

令和 6 年 5 月 1 日現在

(4) 調査の対象

国立・公立・私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、各種学校及び市町の教育委員会

（注：国立の学校は文部科学省の直接調査となっている。）

(5) 調査票の種類と主な調査事項

ア 学校調査……………学校数、学級数、園児・児童・生徒数、教員数、職員数、入学者数及び卒業生数等。

イ 学校通信教育調査……………学校数、生徒数、教員数、職員数、入学者数及び卒業生数等。

ウ 卒業後の状況調査……………中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校(中学部・高等部)卒業生の進学及び就職状況等。高等学校通信制課程については、令和 5 年度間卒業生の 5 月 1 日現在の状況。(高等学校通信制についてのこの調査事項は、昭和 61 年度に新設された。)

なお、この調査における中学校又は高等学校卒業生の高等学校又は大学等への「入学志願者数」には、高等学校の通信制課程、大学及び短期大学の通信教育部並びに放送大学への入学志願者は含まれていない。

エ 不就学学齢児童生徒調査…就学免除者数、就学猶予者数、1 年以上居所不明者数及び学齢児童生徒死亡者数。

オ 学校施設調査……………土地又は建物の用途別及び構造別等の面積並びに増減の状況。

2 報告書の内容及び資料

(1) この報告書には、「学校調査」、「学校通信教育調査」、「卒業後の状況調査」、「不就学学齢児童生徒調査」及び「学校施設調査」の結果の一部を収録している。

(2) 令和 5 年度以前の数値は、原則として、文部科学省「学校基本調査報告書」による。ただし、この報告書に掲載されていない数値は、県集計表による。

(3) 本年度の数値は、県集計表及び文部科学省「令和 6 年度学校基本調査報告書」による。

3 用語の説明等

(1) この調査における用語の説明は次に掲げるほか、必要に応じてそれぞれの表に脚注として掲げた。

- ア 「教員数(本務者)、…本務・兼務の区別は原則として辞令面による。本務者には、休職者・産
職員数(本務者)」 休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業代替者
を含める。
- イ 「特別支援学級」 ……学校教育法第 81 条第 2 項に該当する児童生徒で編成されている学級。
- ウ 「外国人」 ……日本の国籍を持たない者をいう。日本と外国の両方に国籍を有する者は
日本人とする。
- エ 「併置校」 ……高等学校において、「全日制」及び「定時制」、「全日制」及び「通信制」、
又は「定時制」及び「通信制」の課程を設置している学校をいう。
- オ 「高等学校等……高等学校の本科(全日制、定時制及び通信制)及び別科、中等教育学校
進学者」 後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及
び別科へ進学した者をいう。
- カ 「大学等進学者」 ……大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部及び放送
大学、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高
等部(専攻科)へ進学した者をいう。
- キ 「専修学校等……中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程)及び特別支援学校(中
入学部)」 学部)において、専修学校(高等課程)進学者、専修学校(一般課程)、
各種学校又は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。
高等学校、中等教育学校(後期課程)及び特別支援学校(高等部)にお
いて、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)、各種学校又
は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。
- ク 「就職者」 ……給料、賃金、利潤、報酬その他経常的収入を得る仕事に就いた者をいう。
(自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝いや臨時的な仕事に就
いた者は含めない。)
就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者は、
それぞれ「進学者」、「専修学校等入学部」に含めるとともに、就職率の
算出及び就職先の産業別・職業別等就職者数にも含める。
- ケ 「競争率」 ……高等学校(全日制・定時制)の入学定員における入学志願者数の割合で、
次の式により算出する。

$$\text{競争率} = \frac{\text{入学志願者数}}{\text{入学定員}}$$

- コ 「入学率」 ……専修学校の入学志願者のうち入学者の割合で、次の式により算出する。

$$\text{入学率} = \frac{\text{入学者数}}{\text{入学志願者数}}$$

- サ 「進学率」 ……卒業生総数のうち進学者(就職しながら進学した者を含む。)の割合で、
次の式により算出する。

$$\text{進学率} = \frac{\text{進学者(就職進学者を含む。)}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

シ 「就職率」 ……卒業生総数のうち就職者数の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者数 (A + B + C)}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

A：自営業主等、無期雇用労働者

B：進学・入学した者のうち就職している者

C：「常用労働者のうち有期雇用労働者（雇用契約期間が1か月以上の者）」
のうち、雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者

ス 「幼保連携型 ……教育・保育を一体的行う施設で幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能
認定こども園」 能を併せ持つ単一の施設。

セ 「義務教育学校」 ……小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校。

ソ 「中等教育学校」 ……一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う学校。

タ 「特別支援学校」 ……盲学校、ろう学校及び養護学校が、学校教育法の一部改正に伴い平成19年4月1日から特別支援学校となった。

チ 「専修学校」 ……学校教育法第1条の学校以外で、職業や实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う教育施設（学校教育法第124条）をいう。修業年限は1年以上で、常時40人以上を対象として年間800時間以上の授業を行うものとされているほか、教員資格、教員数、校舎面積などについて専修学校設置基準（昭和51年文部省令第2号）を満たし、認可を受けたものをいう。

ツ 「各種学校」 ……学校教育法第1条の学校及び専修学校以外の学校教育に類する教育を行う教育施設（学校教育法第134条）で、年間授業時数、教員数、校舎面積などについて各種学校規程（昭和31年文部省令第31号）の基準を満たし、認可を受けたものをいう。

(2) 統計表中の記号は次のとおりである。

「—」 ……係数がないもの。

「…」 ……計数の出現があり得ないもの又は調査対象とならなかったもの

「0.0」 ……数値が単位未満のもの。

「△」 ……負数又は減少を示す。

(3) 統計表の中には、四捨五入の関係で統計（合計）と内訳が一致しない場合がある。

比率は小数点第1位までの表章としており、表章未満は四捨五入している。

(4) この報告書についてのお問い合わせ先

広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ

〒730-8511 広島市中区基町10-52

電話 (082) 513-2534 (ダイヤル) FAX (050) 3156-3486

この内容については広島県のホームページでも情報提供していますので、御利用ください。

「広島県統計課」で検索してください。

ホームページアドレス <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/21/>

結果の概要

I 概況

令和6年5月1日現在で実施した学校基本調査（大学、短期大学及び高等専門学校等を除く。）の結果の概要は、次のとおりである。

(1) 学校数

- 幼稚園は200園で、前年度より8園減少。
- 幼保連携型認定こども園は176園で、前年度より7園増加。
- 小学校は457校で、前年度より6校減少。
- 中学校は260校で、前年度より1校減少。
- 義務教育学校は8校で、前年度より1校増加。
- 高等学校は131校で、前年度より2校減少。
- 特別支援学校は19校で、前年度より1校増加。

(2) 在学者数

- 幼稚園在園者数は15,029人で、前年度より1,603人減少。（12年連続で減少）
- 幼保連携型認定こども園在園者数は21,265人で、前年度より179人増加。（2年連続で増加し、過去最多）
- 小学校児童数は138,467人で、前年度より3,481人減少。（6年連続で減少し、過去最少）
- 中学校生徒数は74,356人で、前年度より553人減少。（3年連続で減少し、過去最少）
- 義務教育学校児童生徒数は2,462人で、前年度より97人増加。（4年連続で増加し、過去最多）
- 高等学校生徒数は70,501人で、前年度より217人増加。（2年連続で増加）
- 特別支援学校在学者数は2,941人で、前年度より108人増加。（4年連続で増加し、過去最多）

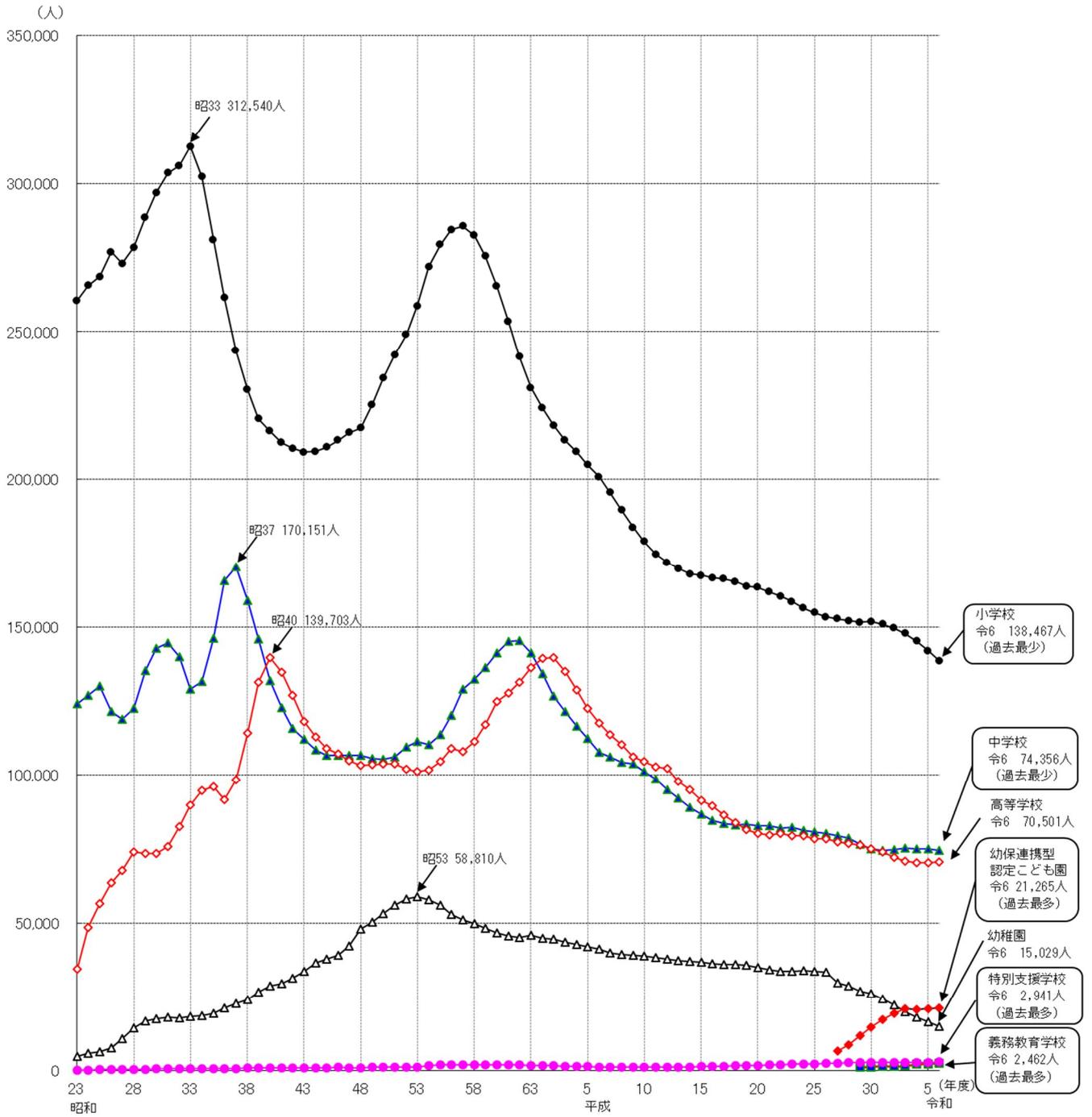
(3) 教員数（本務者）

- 幼稚園教員数は1,676人で、前年度より42人減少。
- 幼保連携型認定こども園教育・保育職員数は3,848人で、前年度より202人増加。
- 小学校教員数は10,072人で、前年度より32人増加。
- 中学校教員数は5,662人で、前年度より5人増加。
- 義務教育学校教員数は274人で、前年度より31人増加。
- 高等学校教員数は5,270人で、前年度より41人増加。
- 特別支援学校教員数は1,681人で、前年度より45人増加。

（単位：校（園）、人）

区 分	学 校 数			在 学 者 数			教 員 数 (本 務 者)		
	令和6年度	令和5年度	増減数	令和6年度	令和5年度	増減数	令和6年度	令和5年度	増減数
幼 稚 園	200	208	△ 8	15,029	16,632	△ 1,603	1,676	1,718	△ 42
幼保連携型認定こども園	176	169	7	21,265	21,086	179	3,848	3,646	202
小 学 校	457	463	△ 6	138,467	141,948	△ 3,481	10,072	10,040	32
中 学 校	260	261	△ 1	74,356	74,909	△ 553	5,662	5,657	5
義 務 教 育 学 校	8	7	1	2,462	2,365	97	274	243	31
	〔前期課程〕	…	…	1,569	1,515	54	…	…	…
	〔後期課程〕	…	…	893	850	43	…	…	…
高 等 学 校	131	133	△ 2	70,501	70,284	217	5,270	5,229	41
中 等 教 育 学 校	1	1	0	687	683	4	52	54	△ 2
	〔前期課程〕	…	…	357	353	4	…	…	…
	〔後期課程〕	…	…	330	330	0	…	…	…
特 別 支 援 学 校	19	18	1	2,941	2,833	108	1,681	1,636	45
専 修 学 校	68	69	△ 1	11,956	12,285	△ 329	778	775	3
各 種 学 校	20	20	0	1,576	1,590	△ 14	158	145	13

図1 在学者数の推移（昭和23年度～）



(4) 卒業者に占める進学者及び就職者の割合

<中学校卒業後の状況>

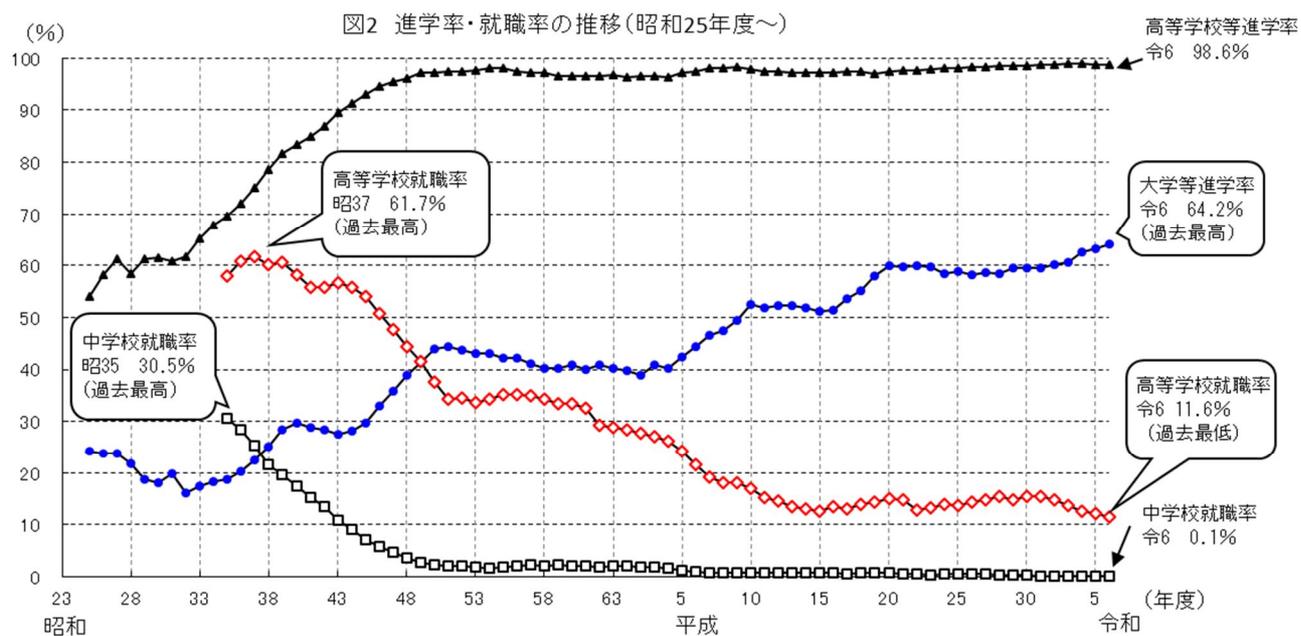
○高等学校等への進学率は98.6%で、前年度より0.2ポイント低下。

○就職率は0.1%で、前年度と同じ。

<高等学校卒業後の状況>

○大学等への進学率は64.2%で、前年度より0.8ポイント上昇。(過去最高)

○就職率は11.6%で、前年度より0.5ポイント低下。(過去最低)



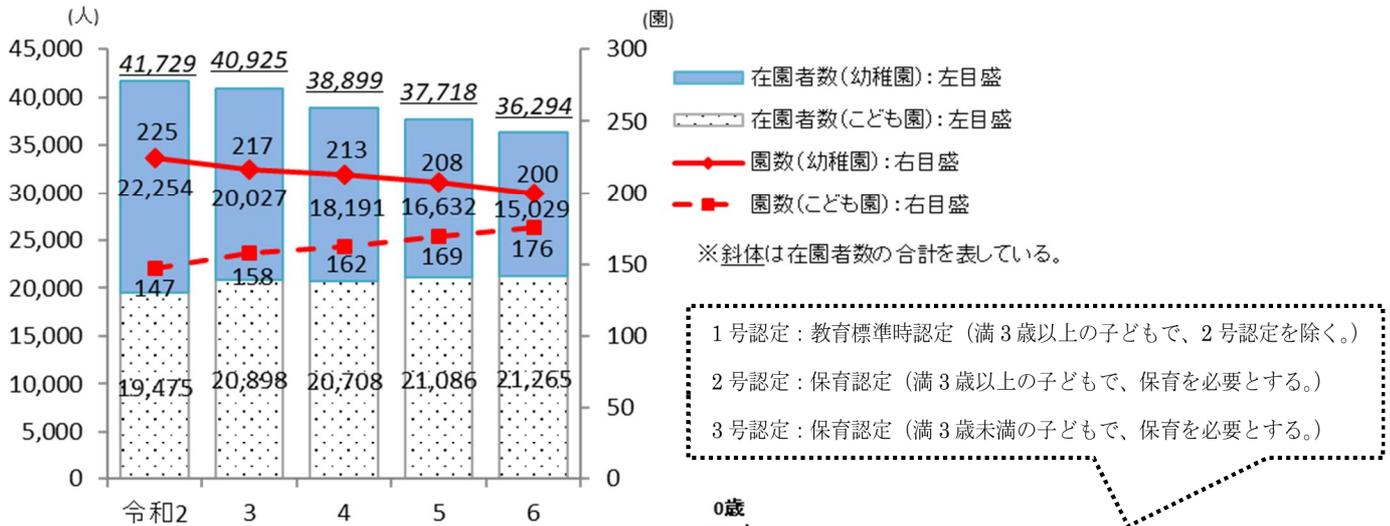
注) 昭和24年度以前の進学率及び昭和34年度以前の就職率は不詳。

〔幼稚園・幼保連携型認定こども園〕 「幼保連携型認定こども園」は、以下、図中は「こども園」とする。

(1) 学校数・在園者数

幼稚園では、幼保連携型認定こども園への移行などにより、前年度より園数は8園、在園者数も1,603人減少した。〔図3〕
 幼稚園では5歳児が最も多い。〔図4〕 幼保連携型認定こども園では3～5歳児が71.2%を占めている。〔図5〕
 幼保連携型認定こども園の認定号別では、保育が必要な2号認定及び3号認定が76.5%を占めている。〔図6〕

図3 幼稚園及びこども園の園数・在園者数



※斜体は在園者数の合計を表している。

1号認定：教育標準時認定（満3歳以上の子どもで、2号認定を除く。）
 2号認定：保育認定（満3歳以上の子どもで、保育を必要とする。）
 3号認定：保育認定（満3歳未満の子どもで、保育を必要とする。）

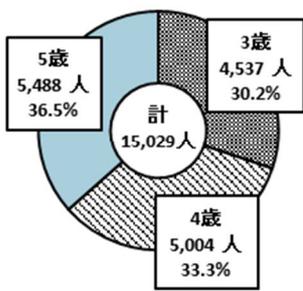


図4 幼稚園 在園者数内訳

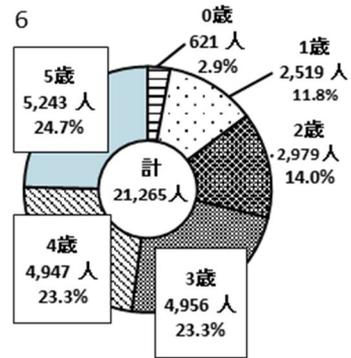


図5 こども園 在園者数内訳

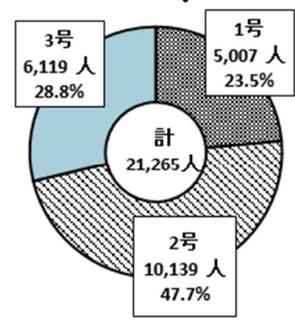
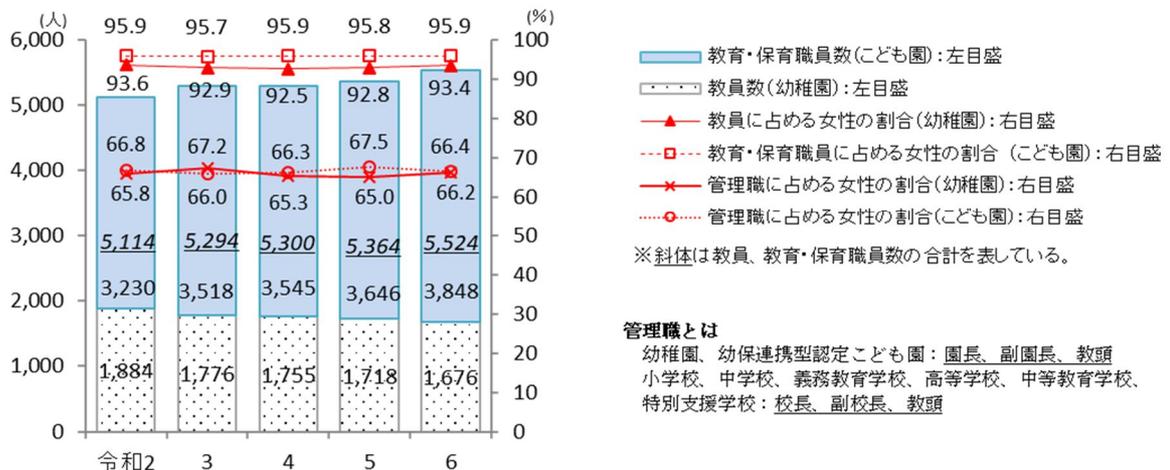


図6 こども園 認定号内訳

(2) 教員、教育・保育職員数（本務者）

幼稚園の教員数(本務者)は減少傾向、幼保連携型認定こども園の教育・保育職員数(本務者)は増加傾向にある。〔図7〕
 教員、教育・保育職員に占める女性の割合はいずれも90%台で推移している。〔図7〕
 管理職に占める女性の割合はいずれも60%台半ばで推移している。〔図7〕

図7 幼稚園及びこども園の教員、教育・保育職員数・教員、教育・保育職員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



管理職とは
 幼稚園、幼保連携型認定こども園：園長、副園長、教頭
 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、
 特別支援学校：校長、副校長、教頭

[小学校]

学校数は前年度より6校減少した。児童数も3,481人減少した。[図8]

教員数(本務者)は増加傾向が続いている。また、教員に占める女性の割合は60%台後半で推移している。[図9]

管理職に占める女性の割合は、上昇傾向にあり、前年度より1.5ポイント上昇し、49.9%となった。[図9]

図8 小学校の学校数・児童数

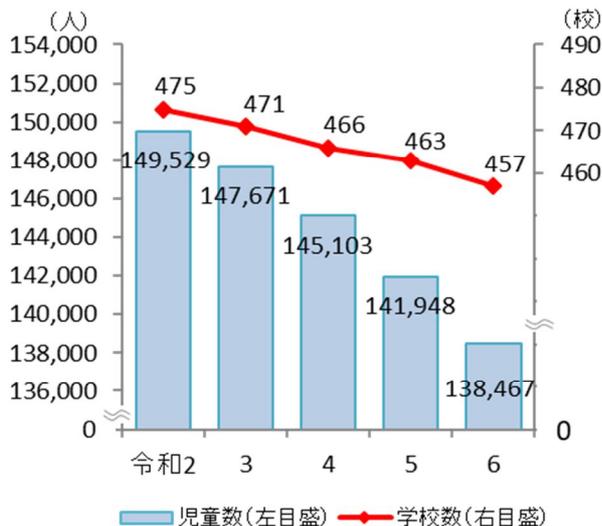
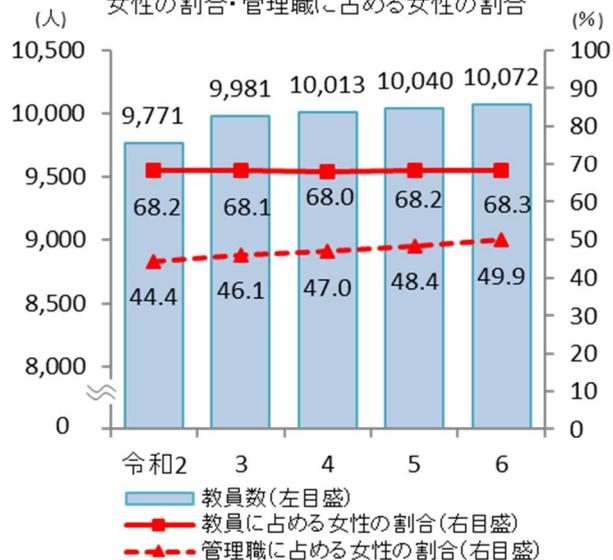


図9 小学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



[中学校]

学校数は前年度より1校減少した。生徒数も553人減少した。[図10]

教員数(本務者)は2年連続増加している。教員に占める女性の割合は40%台半ばで推移している。[図11]

管理職に占める女性の割合は上昇傾向にあり、前年度より0.5ポイント上昇し、25.7%となった。[図11]

図10 中学校の学校数・生徒数

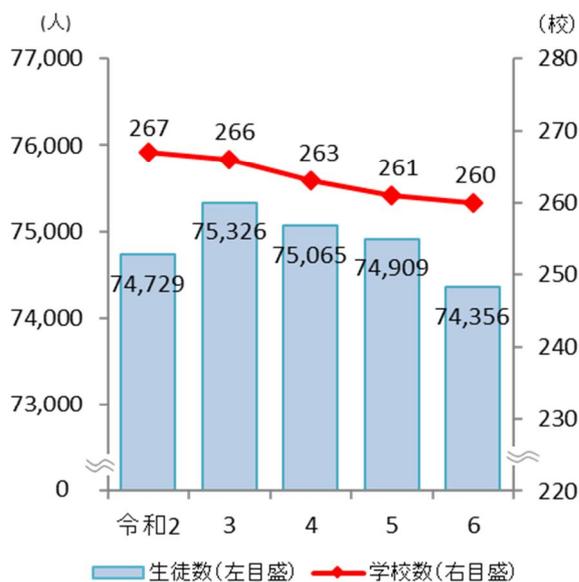
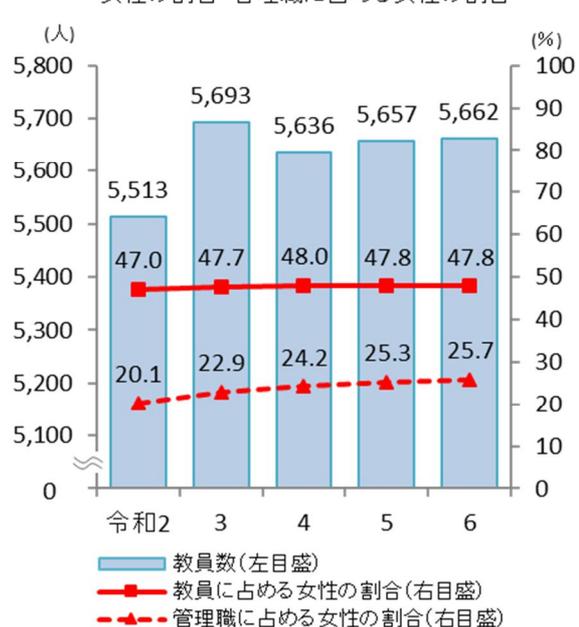


図11 中学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



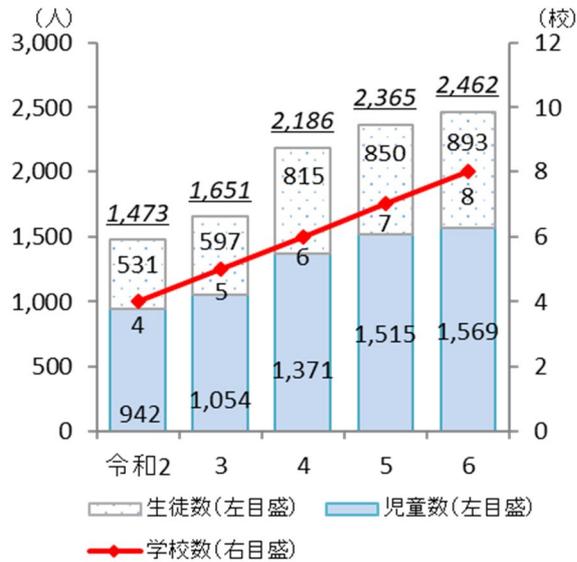
〔義務教育学校〕

学校数は前年度より1校増加し、児童生徒数も97人増加した。〔図12〕

教員数（本務者）は前年度より31人増加した。教員に占める女性の割合は60%台で推移している。〔図13〕

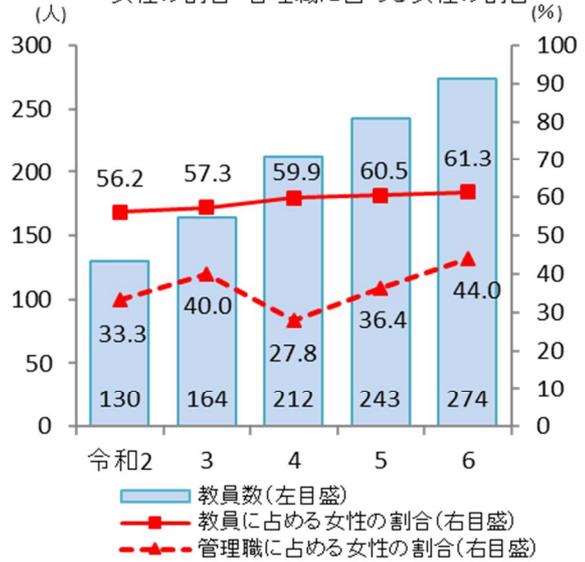
管理職に占める女性の割合は40%を上回り、上昇傾向にある。〔図13〕

図12 義務教育学校の学校数・児童生徒数



※斜体は児童生徒数の合計を表している。

図13 義務教育学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合

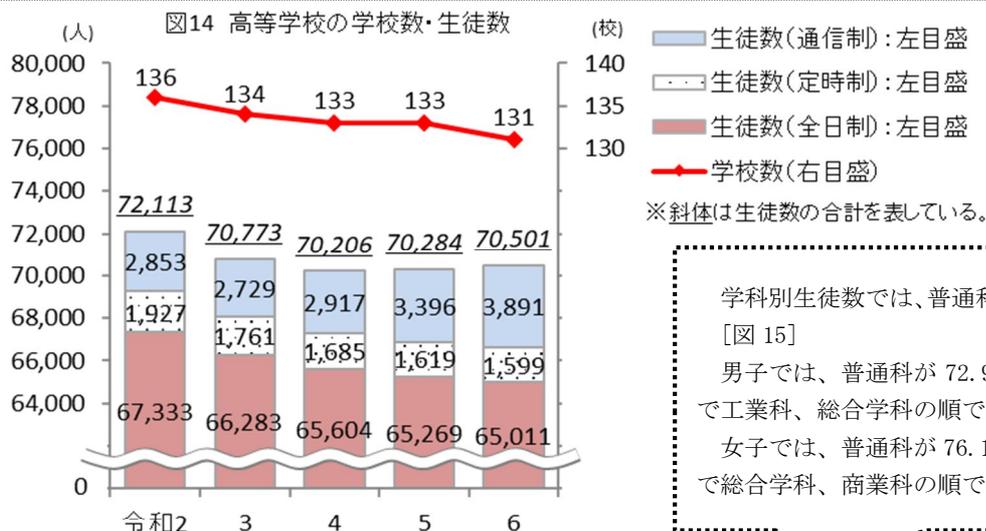


〔高等学校〕

(1) 学校数・生徒数

学校数は前年度より2校減少した。〔図14〕

生徒数は前年度より217人増加し、全日制で258人、定時制で20人減少したものの、通信制で495人増加した。〔図14〕



学科別生徒数では、普通科が74.5%を占めている。〔図15〕

男子では、普通科が72.9%を占め最も多く、次いで工業科、総合学科の順である。〔図16〕

女子では、普通科が76.1%を占め最も多く、次いで総合学科、商業科の順である。〔図17〕

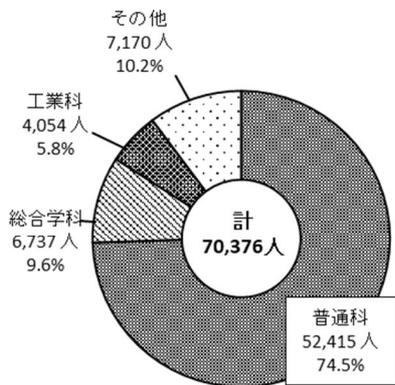


図15 学科別生徒数

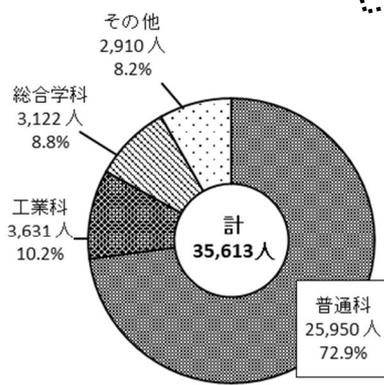


図16 学科別生徒数(男)

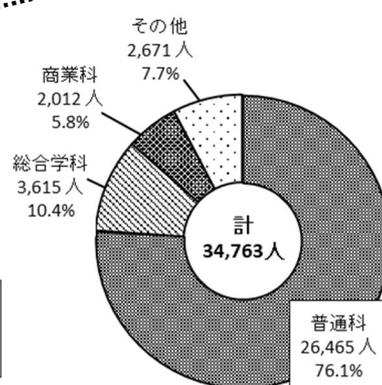
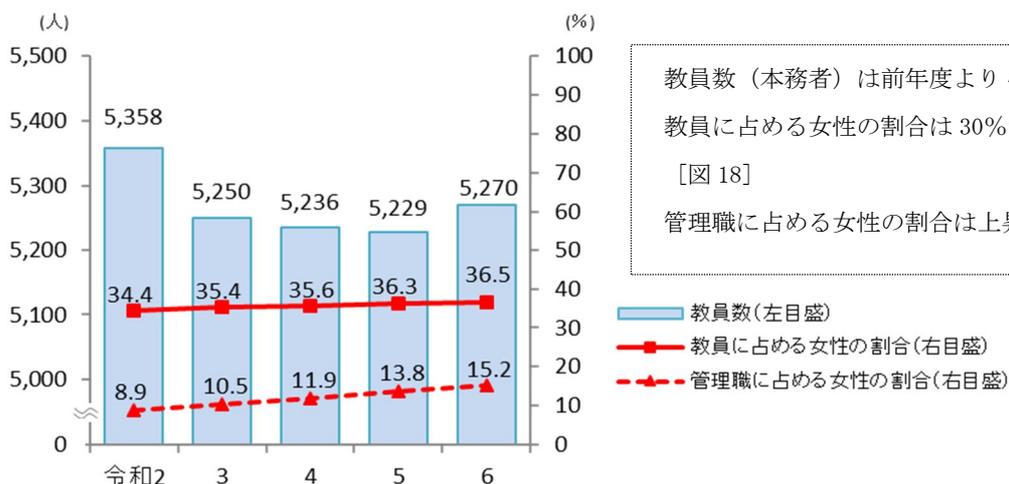


図17 学科別生徒数(女)

注) 図15～図17は本科生の学科別生徒数を表したもので、専攻科生125名は除く。

(2) 教員数(本務者)

図18 高等学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



教員数(本務者)は前年度より41人増加した。〔図18〕
 教員に占める女性の割合は30%台半ばで推移している。〔図18〕
 管理職に占める女性の割合は上昇傾向にある。〔図18〕

〔中等教育学校〕

学校数は1校で前年度と同数。生徒数は687人(前期課程357人・後期課程330人)で前年度より4人増加した。

教員数(本務者)は52人で前年度より2人減少した。

[特別支援学校]

在学者数は2,941人で前年度より108人増加した。[図19]

教員数は前年度より45人増加した。また、教員に占める女性の割合は60%台で推移している。[図20]

管理職に占める女性の割合は56.3%で、前年度と同じ。[図20]

図19 特別支援学校の学校数・在学者数

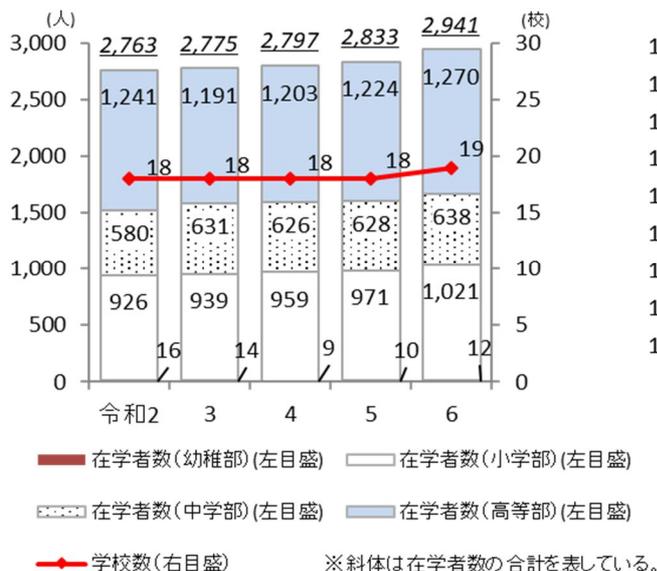
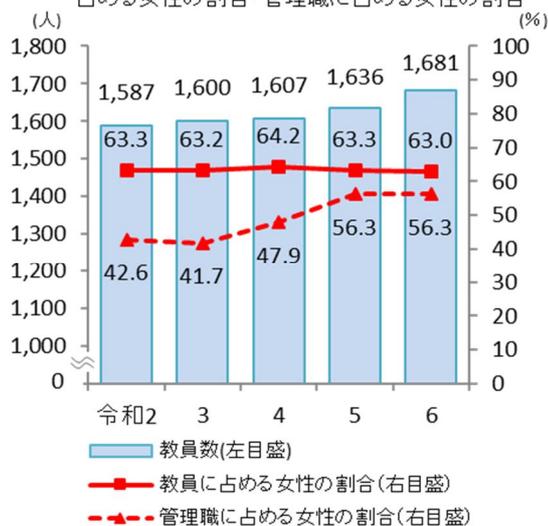


図20 特別支援学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合

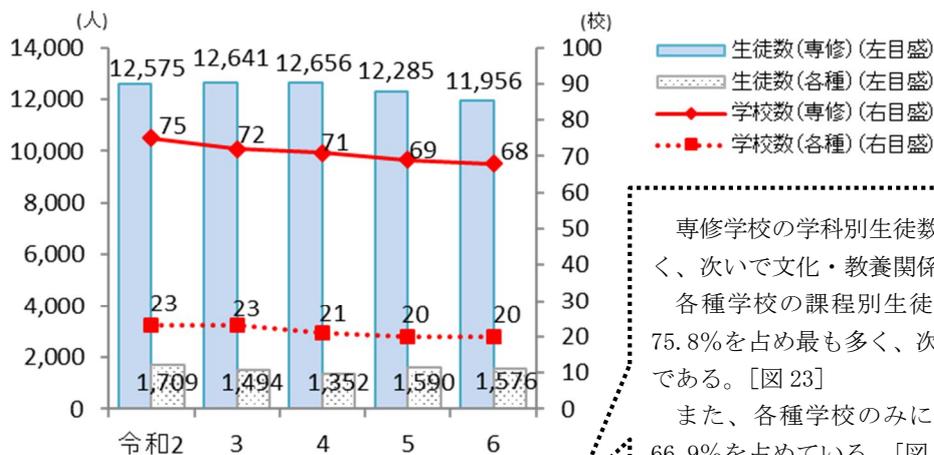


[専修学校・各種学校]

専修学校の学校数は前年度より1校減少した。生徒数は前年度より329人減少した。[図21]

各種学校の学校数は前年度と同数。生徒数は前年度より14人減少した。[図21]

図21 専修学校及び各種学校の学校数・生徒数



専修学校の学科別生徒数は、医療関係が26.7%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、工業関係の順である。[図22]
 各種学校の課程別生徒数は、各種学校のみにある課程が75.8%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、医療関係の順である。[図23]
 また、各種学校のみにある課程では、予備校の生徒数が66.9%を占めている。[図23-1]

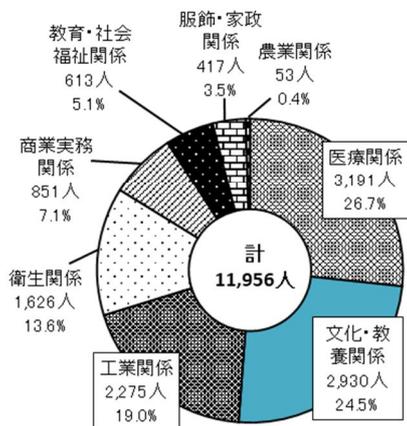


図22 学科別生徒数(専修学校)

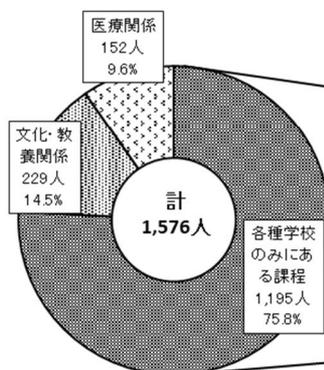


図23 課程別生徒数(各種学校)

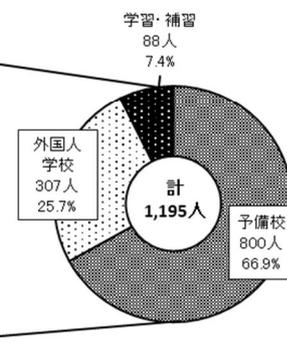
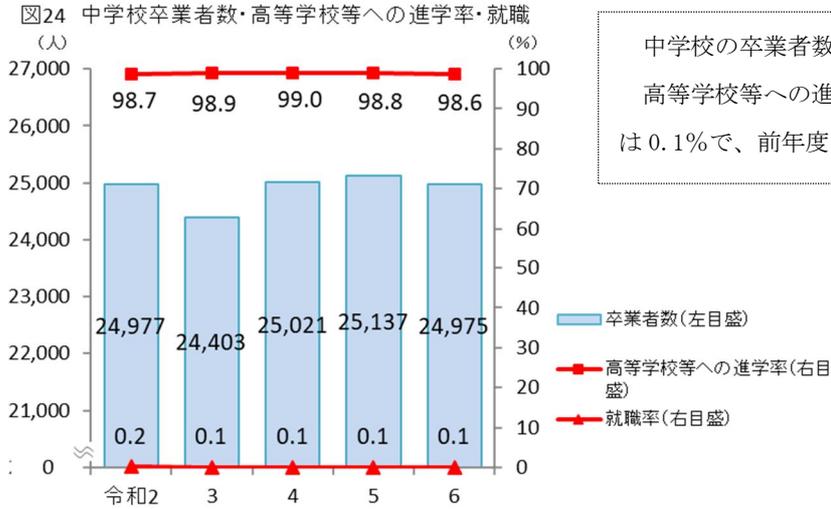


図23-1 各種学校のみにある課程の内

〔中学校卒業後の状況〕

(1) 卒業後の状況



中学校の卒業後進学者数は前年度より162人減少。〔図24〕
 高等学校等への進学率は前年度より低下し、就職率は0.1%で、前年度と同じ。〔図24〕

(2) 高等学校等進学者

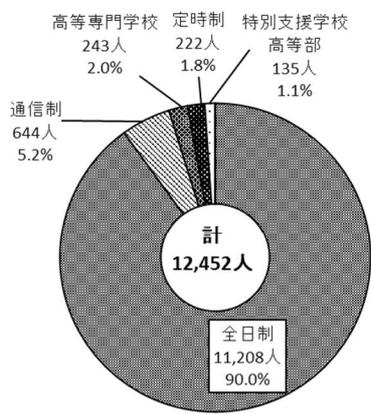


図25 高等学校等進学者内訳(男)

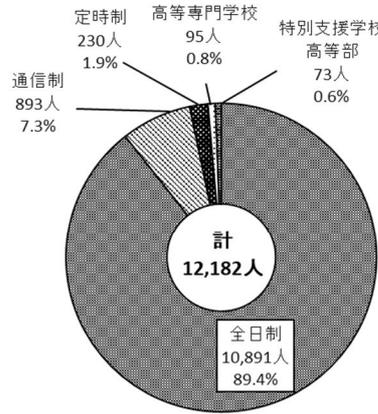


図26 高等学校等進学者内訳(女)

男女ともに高等学校全日制への進学者の割合が最も多く、男子は90.0%、女子は89.4%を占めている。〔図25〕、〔図26〕

(3) 就職者

男子の就職者数は25人で、うち第2次産業への就職が17人と最も多く、22人が県内で就職している。〔図27〕、〔図28〕
 女子の就職者数9人で、うち第2次産業及び第3次産業への就職がともに3人と最も多く、8人が県内で就職している。〔図29〕、〔図30〕

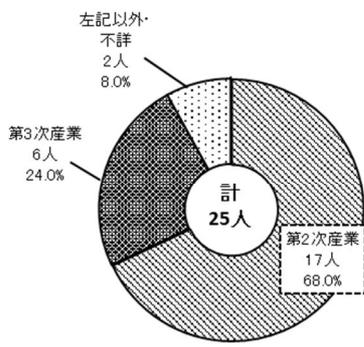


図27 就職者内訳(男)

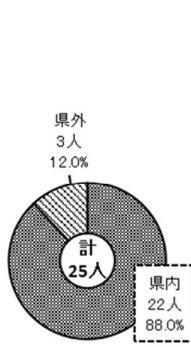


図28 地域別(男)

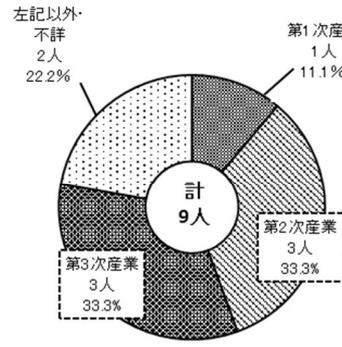


図29 就職者内訳(女)

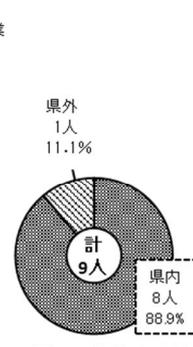


図30 地域別(女)

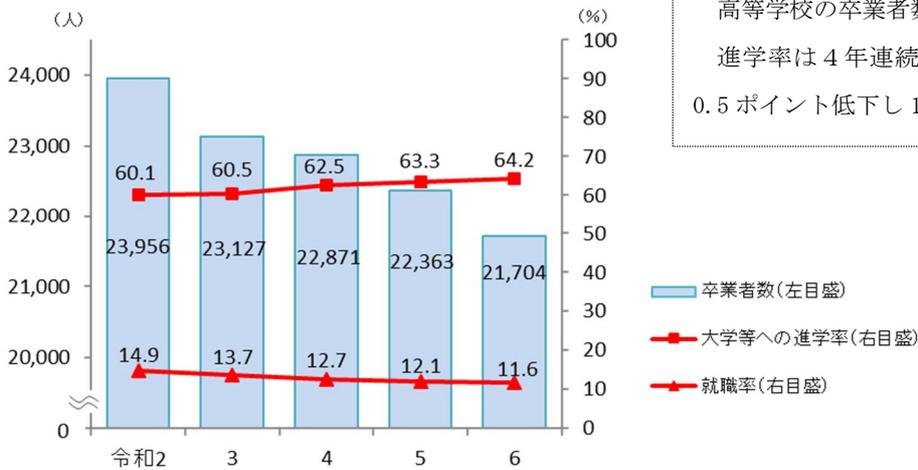
〔義務教育学校卒業後の状況〕

280人が卒業し、うち243人が高等学校全日制に、5人が高等学校定時制に、17人が高等学校通信制に、9人が高等専門学校に、3人が特別支援学校高等部に進学している。進学率は98.9%である。

〔高等学校卒業後の状況〕

(1) 卒業後の状況

図31 高等学校卒業後者数・大学等への進学率・就職率



高等学校の卒業後者数は4年連続減少。
進学率は4年連続で上昇し、就職率は前年度より0.5ポイント低下し11.6%である。〔図31〕

(2) 大学等進学者

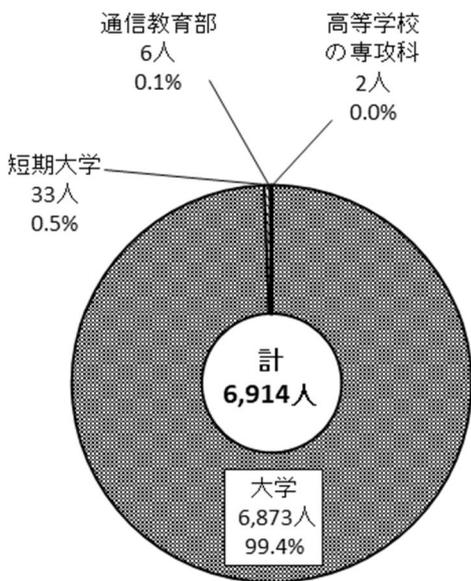


図32 大学等進学者内訳(男)

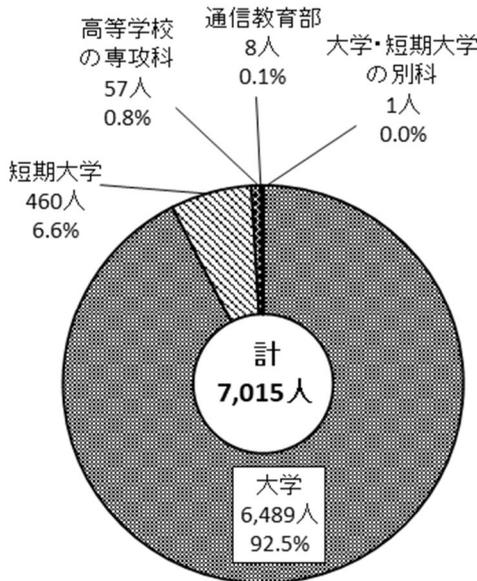


図33 大学等進学者内訳(女)

男子では大学進学者が99.4%を占めている。〔図32〕
女子では大学進学者が92.5%を占め、次いで短期大学進学者が6.6%を占めている。〔図33〕

(3) 専修学校等進学・入学者

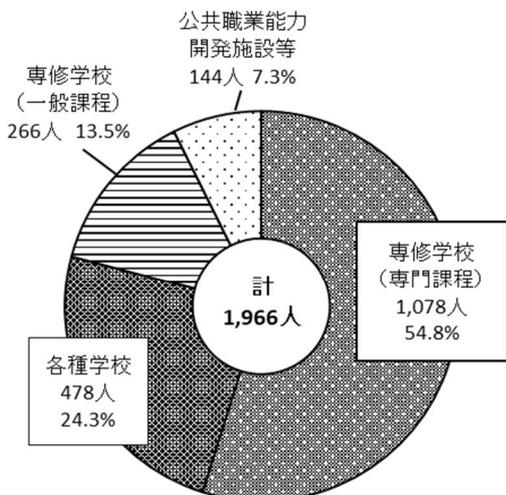


図34 専修学校等進学・入学者内訳(男)

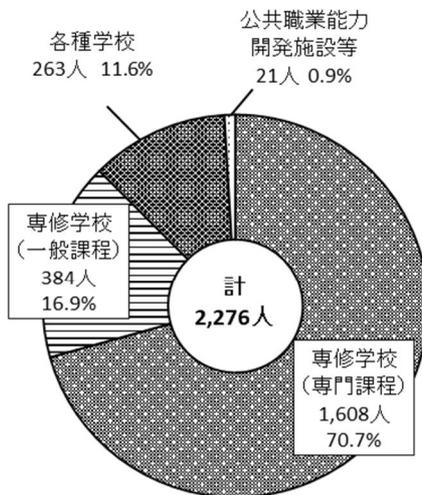


図35 専修学校等進学・入学者内訳(女)

男女ともに専修学校(専門課程)が最も多くを占めている。次いで男子では各種学校が24.3%、女子では専修学校(一般課程)が16.9%を占めている。〔図34〕、〔図35〕

(4) 就職者

<産業別>

男子では「製造業」が46.9%を占め最も多く、次いで「建設業」、「公務（他に分類されるものを除く）」の順である。[図36]

女子では「製造業」が28.5%を占め最も多く、次いで「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順である。[図37]

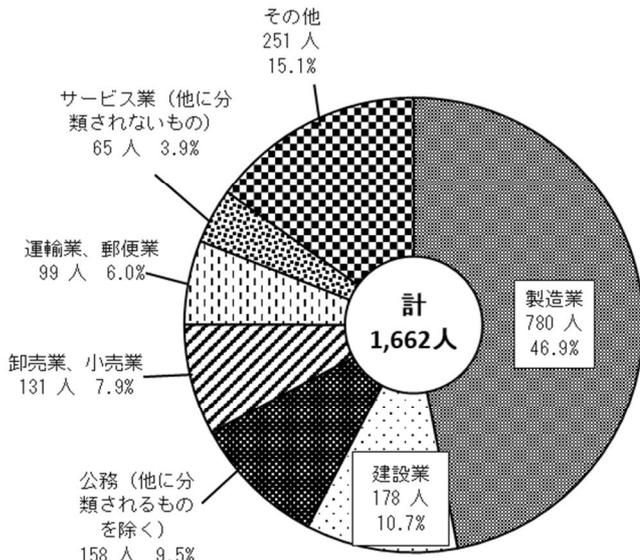


図36 産業別就職者数 (男)

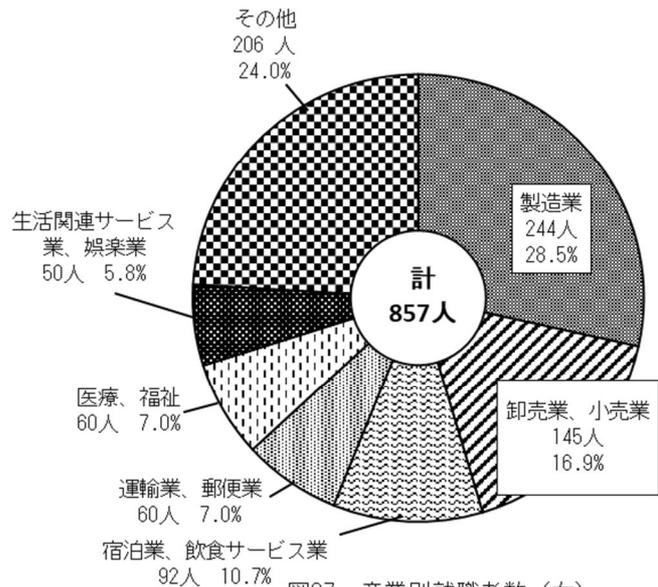


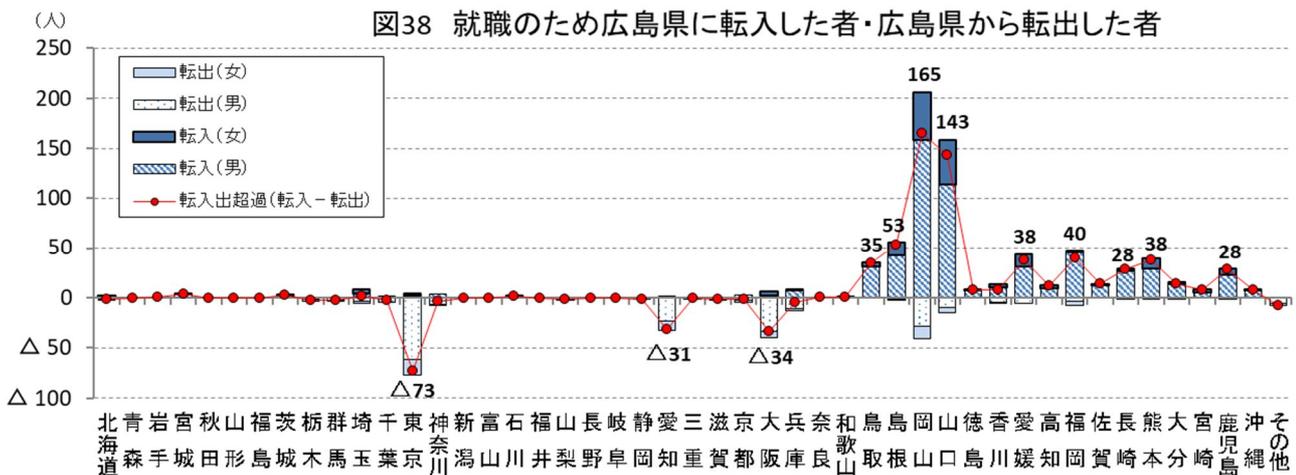
図37 産業別就職者数 (女)

<地域別>

全体として転入超過（483人）で、特に男子が多い（380人の転入超過）。[図38]

主な転入超過先：岡山県、山口県、島根県、福岡県

主な転出超過先：東京都、大阪府、愛知県



〔中等教育学校前期課程修了後の状況〕

115 人が前期課程を修了し、うち 113 人が中等教育学校後期課程に、2 人が高等学校通信制に進学している。進学率は 100.0%である。

〔中等教育学校後期課程卒業後の状況〕

(1) 卒業後の状況

109 人が後期課程を卒業し、うち 90 人が大学等進学、2 人が専修学校(一般課程)入学、16 人が各種学校入学となっている。進学率は 82.6%である。

(2) 大学等進学者

進学者数は 90 人で、全員が大学(学部)に進学している。

〔特別支援学校卒業後の状況〕

＜中学部＞

225人が中学部を卒業し、うち221人が特別支援学校高等部に進学となっている。進学率は98.2%である。

＜高等部＞

(1) 卒業後の状況

365人が高等部を卒業し、うち7人が大学等進学、65人が就職となっている。進学率は1.9%で、就職率は全体で17.8%、男子18.2%、女子17.1%である。

(2) 大学等進学者

進学者数は7人で、うち6人が大学(学部)へ進学している。

(3) 就職者

男子では、「製造業」が58.5%を占め、次いで「卸売業、小売業」、「サービス業(他に分類されないもの)」の順である。〔図39〕

女子では、「製造業」が45.8%占め、次いで、「卸売業・小売業」の順である。〔図40〕

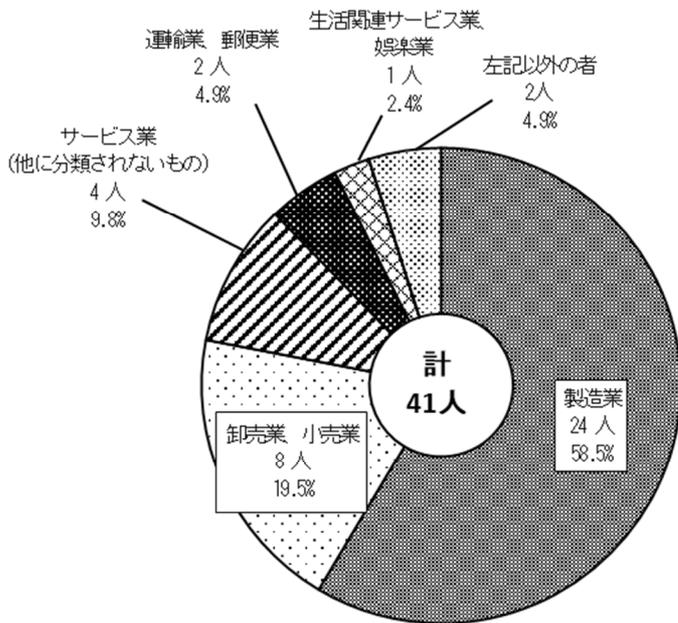


図39 産業別就職者数 (男)

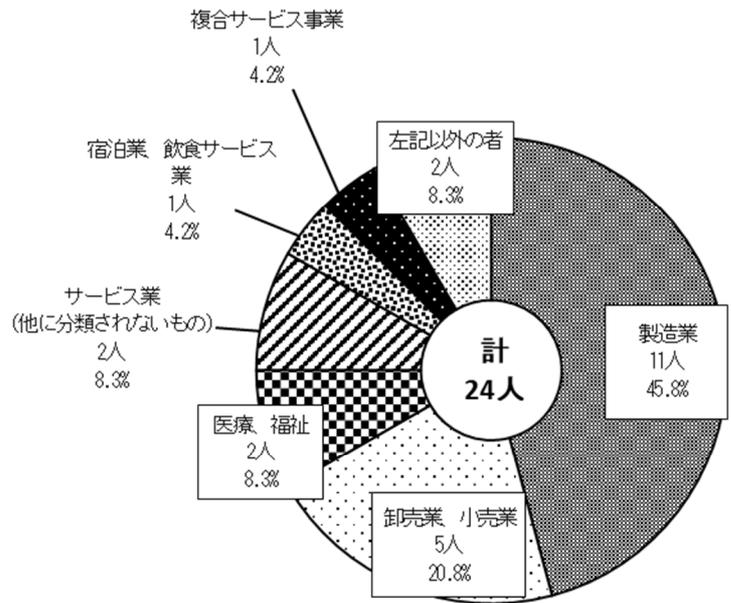


図40 産業別就職者数 (女)

〔不就学学齢児童生徒調査〕

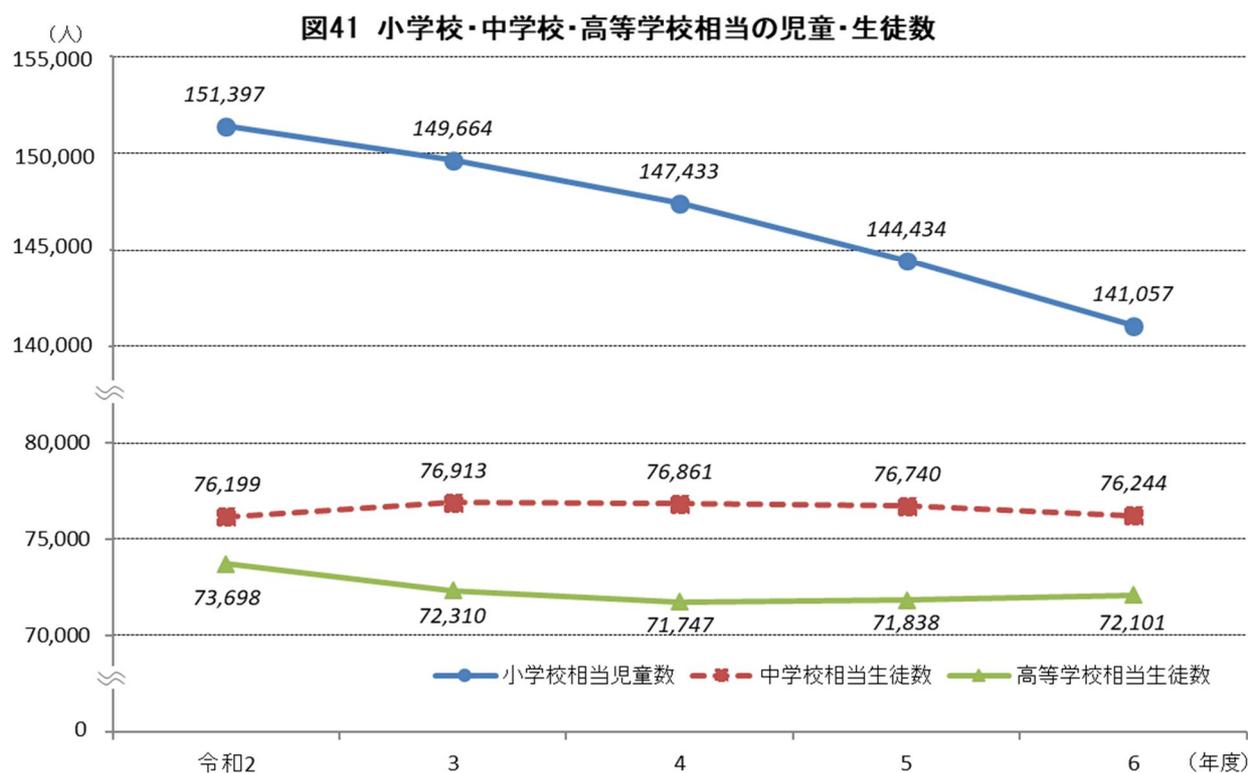
就学免除者数は2人で、就学猶予者数は1人である。1年以上居所不明者数は0人である。

学齢児童生徒死亡者数(前年度間)は17人である。

[参考]

小学校相当児童数、中学校相当生徒数及び高等学校相当生徒数について

- 小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の児童を合計した児童数（以下「小学校相当児童数」という。）は141,057人で、前年度より3,377人減少。
- 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の生徒を合計した生徒数（以下「中学校相当生徒数」という。）は、76,244人で、前年度より496人減少。
- 高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒を合計した生徒数（以下「高等学校相当生徒数」という。）は、72,101人で、前年度より263人増加。



(単位：人)

小学校相当児童数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	149,529	147,671	145,103	141,948	138,467
義務教育学校前期課程	942	1,054	1,371	1,515	1,569
特別支援学校小学部	926	939	959	971	1,021
合計	151,397	149,664	147,433	144,434	141,057

中学校相当生徒数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中学校	74,729	75,326	75,065	74,909	74,356
義務教育学校後期課程	531	597	815	850	893
中等教育学校前期課程	359	359	355	353	357
特別支援学校中学部	580	631	626	628	638
合計	76,199	76,913	76,861	76,740	76,244

高等学校相当生徒数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高等学校	72,113	70,773	70,206	70,284	70,501
中等教育学校後期課程	344	346	338	330	330
特別支援学校高等部	1,241	1,191	1,203	1,224	1,270
合計	73,698	72,310	71,747	71,838	72,101

II 学校調査

1 幼稚園

[表1]園数・学級数・在園者数・教員数（本務者）の推移

年度	園数		学級数		在園者数		1園 当たりの 在園者数		1学級 当たりの 在園者数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 在園者数	
	園数	対前年 増減数	学級数	対前年 増減数	在園者数	対前年 増減数	当 た り の 在 園 者 数	対前年 増減数	当 た り の 在 園 者 数	対前年 増減数	教員数 (本務者)	対前年 増減数	教員1人 当たりの 在園者数	対前年 増減数
	園		学級		人									
R2	225	△15	1,051	△67	22,254	△2,111	98.9	△2.6	21.2	△0.6	1,884	△76	11.8	△0.6
R3	217	△8	973	△78	20,027	△2,227	92.3	△6.6	20.6	△0.6	1,776	△108	11.3	△0.5
R4	213	△4	972	△1	18,191	△1,836	85.4	△6.9	18.7	△1.9	1,755	△21	10.4	△0.9
R5	208	△5	937	△35	16,632	△1,559	80.0	△5.4	17.8	△1.0	1,718	△37	9.7	△0.7
R6	200	△8	882	△55	15,029	△1,603	75.1	△4.8	17.0	△0.7	1,676	△42	9.0	△0.7
国立	1	△1	6	-	111	△13	111.0	49.0	18.5	△2.2	19	7	5.8	△4.5
公立	66	△1	82	△3	930	△58	14.1	△0.7	11.3	△0.3	184	△1	5.1	△0.3
私立	133	△6	794	△52	13,988	△1,532	105.2	△6.5	17.6	△0.7	1,473	△48	9.5	△0.7
男	7,571	△811	111	△13
女	7,458	△792	1,565	△29

(1) 園数（表1）

- ・ 園数は200園で、前年度より8園減少している。
- ・ 設置者別では、国立1園、公立66園、私立133園で、前年度より国立及び公立は各1園、私立は6園減少している。

(2) 学級数（表1）

- ・ 学級数は882学級で、前年度より55学級減少している。
- ・ 設置者別では、国立6学級、公立82学級、私立794学級で、前年度より公立は3学級、私立は52学級減少している。

(3) 在園者数（表1、統計表2）

- ・ 在園者数は15,029人で、前年度より1,603人減少している。なお、12年連続の減少となった。
- ・ 男女別では、男子7,571人、女子7,458人で、前年度より男子は811人、女子は792人減少している。
- ・ 年齢別では、3歳児4,537人、4歳児5,004人、5歳児5,488人で、前年度より3歳児は430人、4歳児は491人、5歳児は682人減少している。
- ・ 1園当たりの在園者数は75.1人で、前年度より4.8人減少している。
- ・ 1学級当たりの在園者数は17.0人で、前年度より0.7人減少している。

(4) 教員数（本務者）（表1、統計表2）

- ・ 教員数(本務者)は1,676人で、前年度より42人減少している。
- ・ 設置者別では、国立19人、公立184人、私立1,473人で、前年度より国立は7人増加、公立は1人、私立は48人減少している。
- ・ 男女別では、男性111人、女性1,565人で、前年度より男性は13人、女性は29人減少している。
- ・ 教員(本務者)1人当たりの在園者数は9.0人で、前年度より0.7人減少している。
- ・ 教員(本務者)に占める女性の割合は93.4%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

(5) 入園者数（表2）

- ・ 入園者数は、3,350人で、前年度より703人減少している。
- ・ 設置者別では、国立38人、公立409人、私立2,903人で、前年度より国立は4人、公立は76人、私立は623人減少している。
- ・ 男女別では、男子1,686人、女子1,664人で、前年度より男子は372人、女子331人減少している。
- ・ 年齢別では、3歳児2,705人、4歳児455人、5歳児190人で、前年度より3歳児は488人、4歳児は129人、5歳児は86人減少している。

[表2] 年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	増減数	対前年 増減数	
	人							
R2	6,394	△1,106	5,244	△730	876	△290	274	△86
R3	5,469	△925	4,560	△684	710	△166	199	△75
R4	4,465	△1,004	3,710	△850	590	△120	165	△34
R5	4,053	△412	3,193	△517	584	△6	276	111
R6	3,350	△703	2,705	△488	455	△129	190	△86
国立	38	△4	33	△3	5	△1	-	-
公立	409	△76	127	△23	211	△64	71	11
私立	2,903	△623	2,545	△462	239	△64	119	△97
男	1,686	△372	1,352	△262	241	△57	93	△53
女	1,664	△331	1,353	△226	214	△72	97	△33

(6) 認可定員及び定員充足率(表3、統計表2)

- ・ 認可定員は33,095人で、前年度より1,414人減少している。
設置者別では、国立160人、公立5,987人、私立26,948人で、前年度より公立は35人、私立は1,379人減少している。
- ・ 定員充足率は45.4%で、前年度より2.8ポイント低下している。
設置者別では、国立69.4%、公立15.5%、私立51.9%で、前年度より国立は8.1ポイント、公立は0.9ポイント、私立は2.9ポイント低下している。

[表3] 認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	在園者数	定員 充足率	認可定員	在園者数	定員 充足率	認可定員	在園者数	定員 充足率	認可定員	在園者数	定員 充足率
	人			人			人			人		
	%			%			%			%		
R2	37,959	22,254	58.6	160	149	93.1	6,547	1,582	24.2	31,252	20,523	65.7
R3	36,070	20,027	55.5	160	144	90.0	6,352	1,320	20.8	29,558	18,563	62.8
R4	35,485	18,191	51.3	160	130	81.3	6,282	1,091	17.4	29,043	16,970	58.4
R5	34,509	16,632	48.2	160	124	77.5	6,022	988	16.4	28,327	15,520	54.8
R6	33,095	15,029	45.4	160	111	69.4	5,987	930	15.5	26,948	13,988	51.9

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼稚園修了者数の割合(就園率)(表4)

- ・ 修了者数は6,248人で、前年度より467人減少している。
設置者別では、国立49人、公立475人、私立5,724人で、前年度より国立は3人増加し、公立は60人、私立は410人減少している。
- ・ 就園率は28.6%で、前年度より1.4ポイント低下している。
設置者別では、国立0.2%、公立2.2%、私立26.2%で、前年度より公立は0.2ポイント、私立は1.2ポイント低下している。

[表4] 修了者数・小学校第1学年に占める幼稚園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校 第1学年	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率	幼稚園 修了者	就園率
	人			人		人		人	
	%			%		%		%	
R2	24,255	8,659	35.7	53	0.2	1,015	4.2	7,591	31.3
R3	23,888	7,997	33.5	55	0.2	841	3.5	7,101	29.7
R4	23,415	7,280	31.1	52	0.2	695	3.0	6,533	27.9
R5	22,409	6,715	30.0	46	0.2	535	2.4	6,134	27.4
R6	21,863	6,248	28.6	49	0.2	475	2.2	5,724	26.2

注) 小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を示している。

2 幼保連携型認定こども園

[表5] 園数・学級数・在園者数・教育・保育職員数（本務者）の推移

年度	園数		学級数		在園者数		1園当たりの在園者数		1学級当たりの在園者数		教育・保育職員数（本務者）		教育・保育職員1人当たりの在園者数	
	園	対前年増減数	学級	対前年増減数	人	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
R2	147	18	694	90	19,475	2,083	132.5	△2.3	28.1	△0.7	3,230	318	6.0	0.1
R3	158	11	748	54	20,898	1,423	132.3	△0.2	27.9	△0.1	3,518	288	5.9	△0.1
R4	162	4	772	24	20,708	△190	127.8	△4.4	26.8	△1.1	3,545	27	5.8	△0.1
R5	169	7	798	26	21,086	378	124.8	△3.1	26.4	△0.4	3,646	101	5.8	△0.1
R6	176	7	822	24	21,265	179	120.8	△3.9	25.9	△0.6	3,848	202	5.5	△0.3
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	5	-	22	△2	541	△47	108.2	△9.4	24.6	0.1	100	△5	5.4	△0.2
私立	171	7	800	26	20,724	226	121.2	△3.8	25.9	△0.6	3,748	207	5.5	△0.3
男	10,798	135	158	6
女	10,467	44	3,690	196

注) 学級数は、0～2歳児は調査していないため、3～5歳児のみの学級数である。

(1) 園数 (表5)

- ・ 園数は176園で、前年度より7園増加している。
- ・ 設置者別では、公立5園、私立171園で、前年度より私立は7園増加している。

(2) 学級数 (3～5歳児) (表5)

- ・ 学級数は822学級で、前年度より24学級増加している。
- ・ 設置者別では、公立22学級、私立800学級で、前年度より公立は2学級減少し、私立は26学級増加している。

(3) 在園者数 (表5、統計表3)

- ・ 在園者数は21,265人で、前年度より179人増加している。なお、2年連続で増加し、過去最多となった。
- ・ 設置者別では、公立541人、私立20,724人で、前年度より公立は47人減少、私立は226人増加している。
- ・ 男女別では、男子10,798人、女子10,467人で、前年度より男子は135人、女子は44人増加している。
- ・ 年齢別では、0歳児621人、1歳児2,519人、2歳児2,979人、3歳児4,956人、4歳児4,947人、5歳児5,243人で、前年度より1歳児は102人、2歳児は161人、3歳児は96人増加し、0歳児は32人、4歳児は122人、5歳児は26人減少している。
- ・ 認定号別では、1号認定5,007人、2号認定10,139人、3号認定6,119人で、前年度より1号認定は306人減少し、2号認定は254人、3号認定は231人増加している。
- ・ 1園当たりの在園者数は120.8人で、前年度より3.9人減少している。
- ・ 1学級当たりの在園者数は25.9人で、前年度より0.6人減少している。

(4) 教育・保育職員数 (本務者) (表5、統計表3)

- ・ 教員数 (本務者) は3,848人で、前年度より202人増加している。
- ・ 設置者別では、公立100人、私立3,748人で、前年度より公立は5人減少し、私立は207人増加している。
- ・ 男女別では、男性158人、女性3,690人で、前年度より男性は6人、女性は196人増加している。
- ・ 教員 (本務者) 1人当たりの在園者数は5.5人で、前年度より0.3人減少している。
- ・ 教員 (本務者) に占める女性の割合は95.9%で、前年度より0.1ポイント上昇している。

(5) 入園者数 (3～5歳児) (表6)

- ・ 入園者数は2,315人で、前年度より138人増加している。
- ・ 設置者別では、公立67人、私立2,248人で、前年度より公立は1人、私立は137人増加している。
- ・ 男女別では、男子1,169人、女子1,146人で、前年度より男子は75人、女子は63人増加している。

- ・ 年齢別では、3歳児1,730人、4歳児321人、5歳児264人で、前年度より3歳児は11人減少し、4歳児は62人、5歳児は87人増加している。

[表6] 年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	
	人							
R2	3,507	△406	2,153	△105	729	△140	625	△161
R3	3,336	△171	2,285	132	567	△162	484	△141
R4	2,304	△1,032	1,936	△349	235	△332	133	△351
R5	2,177	△127	1,741	△195	259	24	177	44
R6	2,315	138	1,730	△11	321	62	264	87
国立	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	67	1	55	△2	10	3	2	-
私立	2,248	137	1,675	△9	311	59	262	87
男	1,169	75	876	11	159	21	134	43
女	1,146	63	854	△22	162	41	130	44

注) 0~2歳児は入園年度を調査していないため、入園者数に含まない。

(6) 認可定員及び定員充足率(表7、統計表3)

- ・ 認可定員は25,384人で、前年度より470人増加している。
設置者別では、公立818人、私立24,566人で、前年度より公立は7人減少し、私立は477人増加している。
- ・ 定員充足率は83.8%で、前年度より0.9ポイント低下している。
設置者別では、公立66.1%、私立84.4%で、前年度より公立は5.1ポイント、私立は0.7ポイント低下している。

[表7] 認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	在園者数	定員充足率	認可定員	在園者数	定員充足率	認可定員	在園者数	定員充足率	認可定員	在園者数	定員充足率
	人		%	人		%	人		%	人		%
R2	22,008	19,475	88.5	-	-	-	1,010	756	74.9	20,998	18,719	89.1
R3	24,056	20,898	86.9	-	-	-	1,005	737	73.3	23,051	20,161	87.5
R4	24,289	20,708	85.3	-	-	-	825	620	75.2	23,464	20,088	85.6
R5	24,914	21,086	84.6	-	-	-	825	588	71.3	24,089	20,498	85.1
R6	25,384	21,265	83.8	-	-	-	818	541	66.1	24,566	20,724	84.4

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)(表8)

- ・ 修了者数は5,267人で、前年度より149人増加している。
設置者別では、公立164人、私立5,103人で、前年度より公立は1人減少し、私立は150人増加している。
- ・ 就園率は24.1%で、前年度より1.3ポイント上昇している。
設置者別では、公立0.8%、私立23.3%で、前年度より私立は1.2ポイント上昇している。

[表8] 修了者数・小学校第1学年に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立			
	小学校第1学年	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率		
	人		%	人		%		人		%	
R2	24,255	4,104	16.9	-	-	143	0.6	3,961	16.3		
R3	23,888	4,729	19.8	-	-	218	0.9	4,511	18.9		
R4	23,415	5,225	22.3	-	-	209	0.9	5,016	21.4		
R5	22,409	5,118	22.8	-	-	165	0.7	4,953	22.1		
R6	21,863	5,267	24.1	-	-	164	0.8	5,103	23.3		

注) 小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を示している。

3 小学校

[表9] 学校数・学級数・児童数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学級数		児童数		1校当たりの児童数		1学級当たりの児童数		教員数（本務者）		教員1人当たりの児童数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学級		人									
R2	475	△4	6,530	△16	149,529	△1,268	314.8	△0.0	22.9	△0.1	9,771	64	15.3	△0.2
R3	471	△4	6,555	25	147,671	△1,858	313.5	△1.3	22.5	△0.4	9,981	210	14.8	△0.5
R4	466	△5	6,561	6	145,103	△2,568	311.4	△2.1	22.1	△0.4	10,013	32	14.5	△0.3
R5	463	△3	6,585	24	141,948	△3,155	306.6	△4.8	21.6	△0.6	10,040	27	14.1	△0.4
R6	457	△6	6,571	△14	138,467	△3,481	303.0	△3.6	21.1	△0.5	10,072	32	13.7	△0.4
国立	3	-	42	-	1,185	-	395.0	-	28.2	-	64	△1	18.5	0.3
公立	445	△6	6,452	△14	135,413	△3,433	304.3	△3.6	21.0	△0.5	9,862	36	13.7	△0.4
私立	9	-	77	-	1,869	△48	207.7	△5.3	24.3	△0.6	146	△3	12.8	△0.1
男	…	…	…	…	70,592	△1,809	…	…	…	…	3,189	△5	…	…
女	…	…	…	…	67,875	△1,672	…	…	…	…	6,883	37	…	…

(1) 学校数（表9）

- ・ 学校数は457校で、前年度より6校減少している。
- ・ 設置者別では、国立3校、公立445校、私立9校で、前年度より公立は6校減少している。

(2) 学級数（表9、統計表4）

- ・ 学級数は6,571学級で、前年度より14学級減少している。
- ・ 設置者別では、国立42学級、公立6,452学級、私立77学級で、前年度より公立は14学級減少している。
- ・ 学級編制方式別では、単式学級4,957学級、複式学級108学級、特別支援学級1,506学級で、前年度より単式学級は85学級減少し、複式学級は7学級、特別支援学級は64学級増加している。

(3) 児童数（表9、統計表4）

- ・ 児童数は138,467人で、前年度より3,481人減少している。なお、6年連続で減少し、過去最少となった。
- ・ 設置者別では、国立1,185人、公立135,413人、私立1,869人で、前年度より公立は3,433人、私立は48人減少している。
- ・ 学級編制方式別では、単式学級129,432人、複式学級999人、特別支援学級8,036人で、前年度より単式学級は4,040人減少し、複式学級は106人、特別支援学級は453人増加している。
- ・ 男女別では、男子70,592人、女子67,875人で、前年度より男子は1,809人、女子は1,672人減少している。
- ・ 1校当たりの児童数は303.0人で、前年度より3.6人減少している。
- ・ 1学級当たりの児童数は21.1人で、前年度より0.5人減少している。

(4) 教員数（本務者）（表9、統計表4）

- ・ 教員数（本務者）は10,072人で、前年度より32人増加している。
- ・ 設置者別では、国立64人、公立9,862人、私立146人で、前年度より国立は1人、私立は3人減少し、公立は36人増加している。
- ・ 男女別では、男性3,189人、女性6,883人で、前年度より男性は5人減少し、女性は37人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの児童数は13.7人で、前年度より0.4人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は68.3%で、前年度より0.2ポイント上昇している。

4 中学校

[表10] 学校数・学級数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1校当たりの生徒数		1学級当たりの生徒数		教員数（本務者）		教員1人当たりの生徒数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学級		人									
R2	267	△1	2,732	34	74,729	335	279.9	2.3	27.4	△0.2	5,513	23	13.6	0.0
R3	266	△1	2,787	55	75,326	597	283.2	3.3	27.0	△0.3	5,693	180	13.2	△0.3
R4	263	△3	2,762	△25	75,065	△261	285.4	2.2	27.2	0.2	5,636	△57	13.3	0.1
R5	261	△2	2,787	25	74,909	△156	287.0	1.6	26.9	△0.3	5,657	21	13.2	△0.1
R6	260	△1	2,786	△1	74,356	△553	286.0	△1.0	26.7	△0.2	5,662	5	13.1	△0.1
国立	4	-	33	-	1,204	△11	301.0	△2.8	36.5	△0.3	69	3	17.4	△1.0
公立	227	△1	2,522	△2	65,476	△486	288.4	△0.9	26.0	△0.2	5,057	3	12.9	△0.1
私立	29	-	231	1	7,676	△56	264.7	△1.9	33.2	△0.4	536	△1	14.3	△0.1
男	37,996	△177	2,956	5
女	36,360	△376	2,706	-

注) 夜間その他特別な時間において授業を行っている「学級数」、「生徒数」及び「教員数」は含まれていない。

(1) 学校数 (表 10)

- ・ 学校数は 260 校で、前年度より 1 校減少している。
- ・ 設置者別では、国立 4 校、公立 227 校、私立 29 校で、前年度より公立は 1 校減少している。

(2) 学級数 (表 10、統計表 5)

- ・ 学級数は 2,786 学級で、前年度より 1 学級減少している。
- ・ 設置者別では、国立 33 学級、公立 2,522 学級、私立 231 学級で、前年度より公立は 2 学級減少し、私立は 1 学級増加している。
- ・ 学級編制方式別では、単式学級 2,211 学級、特別支援学級 575 学級で、前年度より単式学級は 28 学級減少し、特別支援学級は 27 学級増加している。

(3) 生徒数 (表 10、統計表 5)

- ・ 生徒数は 74,356 人で、前年度より 553 人減少している。なお、3 年連続で減少し、過去最少となった。
- ・ 設置者別では、国立 1,204 人、公立 65,476 人、私立 7,676 人で、前年度より国立は 11 人、公立は 486 人、私立は 56 人減少している。
- ・ 学級編制方式別では、単式学級 71,733 人、特別支援学級 2,623 人で、前年度より単式学級は 830 人減少し、特別支援学級は 277 人増加している。
- ・ 男女別では、男子 37,996 人、女子 36,360 人で、前年度より男子は 177 人、女子は 376 人減少している。
- ・ 1 校当たりの生徒数は 286.0 人で、前年度より 1.0 人減少している。
- ・ 1 学級当たりの生徒数は 26.7 人で、前年度より 0.2 人減少している。

(4) 教員数（本務者） (表 10、統計表 5)

- ・ 教員数（本務者）は 5,662 人で、前年度より 5 人増加している。
- ・ 設置者別では、国立 69 人、公立 5,057 人、私立 536 人で、前年度より国立は 3 人、公立は 3 人増加し、私立は 1 人減少している。
- ・ 男女別では、男性 2,956 人、女性 2,706 人で、前年度より男性は 5 人増加している。
- ・ 教員（本務者）1 人当たりの生徒数は 13.1 人で、前年度より 0.1 人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は 47.8% で、前年度と同じ。

(5) 中学校夜間学級を設置する学校（夜間その他特別な時間において授業を行う学校）

- ・ 中学校夜間学級を設置する学校は 2 校（全て公立）で、学級数は 6 学級、生徒数は 40 人、担当教員数（本務者）は 10 人であり、生徒数は前年度より 3 人増加している。

5 義務教育学校

[表11] 学校数・学級数・児童生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学級数		児童生徒数		1校当たりの児童生徒数		1学級当たりの児童生徒数		教員数（本務者）		教員1人当たりの児童生徒数	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	校		学級		人									
R2	4	-	72	△3	1,473	△33	368.3	△8.3	20.5	0.4	130	△5	11.3	0.2
R3	5	1	88	16	1,651	178	330.2	△38.1	18.8	△1.7	164	34	10.1	△1.3
R4	6	1	117	29	2,186	535	364.3	34.1	18.7	△0.1	212	48	10.3	0.2
R5	7	1	130	13	2,365	179	337.9	△26.5	18.2	△0.5	243	31	9.7	△0.6
R6	8	1	144	14	2,462	97	307.8	△30.1	17.1	△1.1	274	31	9.0	△0.7
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	8	1	144	14	2,462	97	307.8	△30.1	17.1	△1.1	274	31	9.0	△0.7
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,256	39	106	10
女	1,206	58	168	21

(1) 学校数（表 11）

- ・ 学校数は8校で、前年度より1校増加している。
- ・ 設置者は全て公立である。

(2) 学級数（表 11、統計表 6）

- ・ 学級数は144学級で、前年度より14学級増加している。
- ・ 学級編制方式別では、単式学級96学級、特別支援学級48学級で、前年度より単式学級は8学級、特別支援学級は6学級増加している。

(3) 児童生徒数（表 11、統計表 6）

- ・ 児童生徒数は2,462人で、前年度より97人増加している。なお、4年連続で増加し、過去最多となった。
- ・ 男女別では、男子1,256人、女子1,206人で、前年度より男子は39人、女子は58人増加している。
- ・ 課程別では、前期課程1,569人、後期課程893人で、前年度より前期課程は54人、後期課程は43人増加している。
- ・ 1校当たりの児童生徒数は307.8人で、前年度より30.1人減少している。
- ・ 1学級当たりの児童生徒数は17.1人で、前年度より1.1人減少している。

(4) 教員数（本務者）（表 11、統計表 6）

- ・ 教員数（本務者）は274人で、前年度より31人増加している。
- ・ 男女別では、男性106人、女性168人で、前年度より男性10人、女性21人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は9.0人で、前年度より0.7人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は61.3%で、前年度より0.8ポイント上昇している。

6 高等学校

〔1〕全日制・定時制・通信制

[表12] 学校数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		人							
R2	136	-	72,113	△1,854	530.2	△13.6	5,358	△31	13.5	△0.3
R3	134	△2	70,773	△1,340	528.2	△2.1	5,250	△108	13.5	0.0
R4	133	△1	70,206	△567	527.9	△0.3	5,236	△14	13.4	△0.1
R5	133	-	70,284	78	528.5	0.6	5,229	△7	13.4	0.0
R6	131	△2	70,501	217	538.2	9.7	5,270	41	13.4	△0.1
国立	2	-	1,191	△11	595.5	△5.5
公立	90	△2	43,775	160	486.4	12.3
私立	39	-	25,535	68	654.7	1.7
男	35,614	△36	3,349	19
女	34,887	253	1,921	22

(1) 学校数 (表 12)

- ・ 学校数は131校で、前年度より2校減少している。
- ・ 設置者別では、国立2校、公立90校、私立39校で、前年度より公立が2校減少している。

(2) 生徒数 (表 12、統計表 7、統計表 8)

- ・ 生徒数は70,501人で、前年度より217人増加している。なお2年連続で増加となった。
- ・ 設置者別では、国立1,191人、公立43,775人、私立25,535人で、前年度より国立は11人減少し、公立は160人、私立は68人増加している。
- ・ 男女別では、男子35,614人、女子34,887人で、前年度より男子は36人減少し、女子は253人増加している。
- ・ 学科分野別では、普通科が52,415人と最も多く、次いで総合学科6,737人、工業科4,054人、商業科3,381人となっている。
- ・ 1校当たりの生徒数は538.2人で、前年度より9.7人増加している。

(3) 教員数（本務者） (表 12、統計表 7、統計表 8)

- ・ 教員数（本務者）は5,270人で、前年度より41人増加している。
- ・ 男女別では、男性3,349人、女性1,921人で、前年度より男性は19人、女性は22人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は13.4人で、前年度とほぼ同数となっている。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は36.5%で、前年度より0.1ポイント上昇している。

〔2〕 全日制

[表13] 学校数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		人							
R2	126	-	67,333	△1,644	534.4	△13.0	4,957	△40	13.6	△0.2
R3	126	-	66,283	△1,050	526.1	△8.3	4,899	△58	13.5	△0.1
R4	125	△1	65,604	△679	524.8	△1.2	4,891	△8	13.4	△0.1
R5	125	-	65,269	△335	522.2	△2.7	4,878	△13	13.4	△0.0
R6	123	△2	65,011	△258	528.5	6.4	4,908	30	13.2	△0.1
国立	2	-	1,191	△11	595.5	△5.5	79	-	15.1	△0.1
公立	86	△2	40,383	22	469.6	10.9	3,311	2	12.2	△0.0
私立	35	-	23,437	△269	669.6	△7.7	1,518	28	15.4	△0.5
男	…	…	32,902	△166	…	…	3,112	9	…	…
女	…	…	32,109	△92	…	…	1,796	21	…	…

(1) 学校数 (表 13)

- ・ 学校数は 123 校で、前年度より 2 校減少している。
- ・ 設置者別では、国立 2 校、公立 86 校、私立 35 校で、前年度より公立が 2 校減少している

(2) 生徒数 (表 13、統計表 7)

- ・ 生徒数（専攻科含む。）は 65,011 人で、前年度より 258 人減少している。
- ・ 男女別では、男子 32,902 人、女子 32,109 人で、前年度より男子は 166 人、女子は 92 人減少している。
- ・ 学科分野別では、普通科 49,052 人が最も多く、次いで総合学科 5,945 人、工業科 3,960 人、商業科 3,381 人、農業科 1,213 人となっている。
- ・ 1 校当たりの生徒数は 528.5 人で、前年度より 6.4 人増加している。

(3) 教員数（本務者） (表 13、統計表 7)

- ・ 教員数（本務者）は 4,908 人で、前年度より 30 人増加している。
- ・ 男女別では、男性 3,112 人、女性 1,796 人で、前年度より男性は 9 人、女性は 21 人増加している。
- ・ 教員（本務者）1 人当たりの生徒数は 13.2 人で、前年度より 0.1 人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は 36.6% で、前年度より 0.2 ポイント上昇している。

(4) 入学状況 (表 14)

- ・ 入学定員は 24,641 人で、前年度より 70 人減少している。
設置者別では、国立 400 人、公立 15,180 人、私立 9,061 人で、前年度より公立は 204 人減少し、私立は 134 人増加している。
- ・ 入学志願者は 35,369 人で、前年度より 1,132 人減少している。
設置者別では、国立 776 人、公立 15,359 人、私立 19,234 人で、前年度より国立は 40 人、公立は 162 人、私立は 930 人減少している。
男女別では、男子 17,940 人、女子 17,429 人で、前年度より男子は 764 人、女子は 368 人減少している。
- ・ 競争率は 1.4 倍で、前年度とほぼ同数である。
設置者別では、国立 1.9 倍、公立 1.0 倍、私立 2.1 倍で、前年度より国立及び私立ともに 0.1 ポイント低下し、公立は前年度とほぼ同数となっている。

- ・ 入学者は 22,024 人で、前年度より 405 人減少している。
設置者別では、国立 400 人、公立 13,702 人、私立 7,922 人で、前年度より国立は 2 人増加し、公立は 152 人、私立は 255 人減少している。
男女別では、男子 11,116 人、女子 10,908 人で、前年度より男子は 315 人、女子は 90 人減少している。
- ・ 定員充足率は 89.4% で、前年度より 1.4 ポイント減少している。
設置者別では、国立 100.0%、公立 90.3%、私立 87.4% で、前年度より国立は 0.5 ポイント、公立は 0.2 ポイント上昇し、私立は 4.2 ポイント低下している。

[表14] 入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人				倍		人		%	
R2	24,634	△371	36,981	△2,380	1.5	△0.1	22,444	△653	91.1	△1.3
R3	24,252	△382	35,782	△1,199	1.5	△0.0	22,002	△442	90.7	△0.4
R4	24,628	376	36,436	654	1.5	0.0	22,275	273	90.4	△0.3
R5	24,711	83	36,501	65	1.5	△0.0	22,429	154	90.8	0.3
R6	24,641	△70	35,369	△1,132	1.4	△0.0	22,024	△405	89.4	△1.4
国立	400	-	776	△40	1.9	△0.1	400	2	100.0	0.5
公立	15,180	△204	15,359	△162	1.0	0.0	13,702	△152	90.3	0.2
私立	9,061	134	19,234	△930	2.1	△0.1	7,922	△255	87.4	△4.2
男	17,940	△764	11,116	△315
女	17,429	△368	10,908	△90

[3] 定時制

[表15] 学校数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		人							
R2	23	-	1,927	20	83.8	0.9	296	4	6.5	△0.0
R3	18	△5	1,761	△166	97.8	14.1	253	△43	7.0	0.5
R4	16	△2	1,685	△76	105.3	7.5	244	△9	6.9	△0.1
R5	16	-	1,619	△66	101.2	△4.1	247	3	6.6	△0.4
R6	16	-	1,599	△20	99.9	△1.3	249	2	6.4	△0.1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	15	-	1,599	△20	106.6	△1.3	249	2	6.4	△0.1
私立	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	861	△67	…	…	169	2	…	…
女	…	…	738	47	…	…	80	-	…	…

(1) 学校数（表 15、統計表 7）

- ・ 学校数は16校（うち全日制との併置13校）で、前年度と同数である。
- ・ 設置者別では、公立15校、私立1校で、前年度と同数である。

(2) 生徒数（表 15、統計表 7）

- ・ 生徒数は1,599人で、前年度より20人減少している。
- ・ 男女別では、男子861人、女子738人で、前年度より男子は67人減少し、女子は47人増加している。
- ・ 学科分野別では、総合学科792人が最も多く、次いで普通科713人、工業科94人となっている。
- ・ 1校当たりの生徒数は99.9人で、前年度より1.3人減少している。

(3) 教員数（本務者）（表 15、統計表 7）

- ・ 教員数（本務者）は249人で、前年度より2人増加している。
- ・ 男女別では、男性169人、女性80人で、前年度より男性が2人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は6.4人で、前年度より0.1人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は32.1%で、前年度より0.3ポイント低下している。

(4) 入学状況（表 16）

- ・ 入学定員は1,000人で、前年度と同数である。
- ・ 入学志願者は542人で、前年度より28人増加している。
男女別では、男女ともにそれぞれ271人で、前年度より男子は8人、女子は20人増加している。
- ・ 入学者は489人で、前年度より8人増加している。
男女別では、男子241人、女子248人で、前年度より男子は2人減少し、女子は10人増加している。
- ・ 定員充足率は48.9%で、前年度より0.8ポイント増加している。

[表16] 入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学 志願者		競争率		入学者		定員 充足率	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	人				倍		人		%	
R2	1,000	-	622	△54	0.6	△0.1	526	△47	52.6	△4.7
R3	1,000	-	523	△99	0.5	△0.1	453	△73	45.3	△7.3
R4	1,000	-	513	△10	0.5	△0.0	427	△26	42.7	△2.6
R5	1,000	-	514	1	0.5	0.0	481	54	48.1	5.4
R6	1,000	-	542	28	0.5	0.0	489	8	48.9	0.8
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1,000	-	542	28	0.5	0.0	489	8	48.9	0.8
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	271	8	…	…	241	△2	…	…
女	…	…	271	20	…	…	248	10	…	…

〔4〕通信制

[表17] 学校数・生徒数・入学者・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		生徒数		1校 当 た り の 生 徒 数		入学者		教員数 (本務者)		教員1人 当 た り の 生 徒 数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		人									
R2	9	1	2,853	△230	317.0	△68.4	676	△9	105	5	27.2	△3.7
R3	9	-	2,729	△124	303.2	△13.8	699	23	98	△7	27.8	0.7
R4	9	-	2,917	188	324.1	20.9	756	57	101	3	28.9	1.0
R5	9	-	3,396	479	377.3	53.2	1,015	259	104	3	32.7	3.8
R6	10	1	3,891	495	389.1	11.8	1,100	85	113	9	34.4	1.8
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	2	-	1,793	158	896.5	79.0	467	65	47	2	38.1	1.8
私立	8	1	2,098	337	262.3	10.7	633	20	66	7	31.8	1.9
男	…	…	1,851	197	…	…	519	50	68	8	…	…
女	…	…	2,040	298	…	…	581	35	45	1	…	…

(1) 学校数（表 17、統計表 8）

- ・ 学校数は 10 校（独立校 5 校、併置校 5 校）で、前年度より併置校が 1 校増加している。
- ・ 設置者別では、公立 2 校、私立 8 校で、前年度より私立が 1 校増加している。

(2) 生徒数（表 17、統計表 8）

- ・ 生徒数は 3,891 人で、前年度より 495 人増加している。
- ・ 男女別では、男子 1,851 人、女子 2,040 人で、前年度より男子は 197 人、女子は 298 人増加している。
- ・ 学科分野別は、普通科が 2,650 人、その他の学科が 1,241 人である。
- ・ 1 校当たりの生徒数は 389.1 人で、前年度より 11.8 人増加している。

(3) 教員数（本務者）（表 17、統計表 8）

- ・ 教員数（本務者）は 113 人で、前年度より 9 人増加している。
- ・ 男女別では、男性 68 人、女性 45 人で、前年度より男性は 8 人、女性は 1 人増加している。
- ・ 教員（本務者）1 人当たりの生徒数は 34.4 人で、前年度より 1.8 人増加している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は 39.8% で、前年度より 2.5 ポイント低下している。

(4) 入学状況（表 17）

- ・ 入学者は 1,100 人で、前年度より 85 人増加している。
- ・ 男女別では、男子 519 人、女子 581 人で、前年度より男子は 50 人、女子は 35 人増加している。

7 中等教育学校

[表18] 学校数・学級数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1学級 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人							
R2	1	-	24	-	703	4	29.3	0.2	52	△1	13.5	0.3
R3	1	-	24	-	705	2	29.4	0.1	52	-	13.6	0.0
R4	1	-	24	-	693	△12	28.9	△0.5	52	-	13.3	△0.2
R5	1	-	24	-	683	△10	28.5	△0.4	54	2	12.6	△0.7
R6	1	-	24	-	687	4	28.6	0.2	52	△2	13.2	0.6
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1	-	24	-	687	4	28.6	0.2	52	△2	13.2	0.6
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	271	△15	34	△3
女	416	19	18	1

(1) 学校数（表 18）

- ・ 学校数は1校で、前年度と同数である。
- ・ 設置者は全て公立である。

(2) 学級数（表 18、統計表 9）

- ・ 学級数は24学級で、前年度と同数である。
- ・ 学級編成方式は単式学級のみで前年度と同数である。
- ・ 課程別では、前期課程12学級、後期課程12学級で、前年度と同数である。

(3) 生徒数（表 18、統計表 9）

- ・ 生徒数は687人で、前年度より4人増加している。
- ・ 男女別では、男子271人、女子416人で、前年度より男子は15人減少し、女子は19人増加している。
- ・ 課程別では、前期課程357人、後期課程330人で、前年度より前期課程は4人増加し、後期課程は前年度と同数である。
- ・ 1学級当たりの生徒数は28.6人で、前年度より0.2人増加している。

(4) 教員数（本務者）（表 18、統計表 9）

- ・ 教員数（本務者）は52人で、前年度より2人減少している。
- ・ 男女別では、男性34人、女性18人で、前年度より男性は3人減少し、女性は1人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は13.2人で、前年度より0.6人増加した。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は34.6%で、前年度より3.1ポイント上昇している。

8 特別支援学校

[表19] 学校数・学級数・在学者数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学級数		在学者数		1校 当たりの 在学者数		1学級 当たりの 在学者数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 在学者数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人									
R2	18	-	656	1	2,763	△25	153.5	△1.4	4.2	△0.0	1,587	24	1.7	△0.0
R3	18	-	673	17	2,775	12	154.2	0.7	4.1	△0.1	1,600	13	1.7	△0.0
R4	18	-	673	-	2,797	22	155.4	1.2	4.2	0.0	1,607	7	1.7	0.0
R5	18	-	683	10	2,833	36	157.4	2.0	4.1	△0.0	1,636	29	1.7	△0.0
R6	19	1	704	21	2,941	108	154.8	△2.6	4.2	0.0	1,681	45	1.7	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	19	1	704	21	2,941	108	154.8	△2.6	4.2	0.0	1,681	45	1.7	0.0
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,960	92	622	21
女	981	16	1,059	24

(1) 学校数（表 19）

- ・ 学校数は19校で、前年度より1校増加している。
- ・ 設置者は全て公立である。

(2) 学級数（表 19、統計表 10）

- ・ 学級数は704学級で、前年度より21学級増加している。
- ・ 部別では、幼稚部6学級、小学部287学級、中学部171学級、高等部240学級で、前年度より小学部は11学級、中学部は4学級、高等部は6学級増加している。

(3) 在学者数（表 19、統計表 10）

- ・ 在学者数は2,941人で、前年度より108人増加している。なお、4年連続で増加し、過去最多となった。
- ・ 男女別では、男子1,960人、女子981人で、前年度より男子は92人、女子は16人増加している。
- ・ 部別では、幼稚部12人、小学部1,021人、中学部638人、高等部1,270人で、前年度より幼稚部は2人、小学部は50人、中学部は10人、高等部は46人増加している。
- ・ 1校当たりの在学者数は154.8人で、前年度より2.6人減少している。
- ・ 1学級当たりの在学者数は4.2人で、前年度とほぼ同数である。

(4) 教員数（本務者）（表 19、統計表 10）

- ・ 教員数（本務者）は1,681人で、前年度より45人増加している。
- ・ 男女別では、男性622人、女性1,059人で、前年度より男性は21人、女性は24人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの在学者数は1.7人で、前年度と同数である。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は63.0%で、前年度より0.3ポイント低下している。

9 専修学校

[表20] 学校数・学科数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		学科数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数（本務者）		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		学科		人							
R2	75	△1	228	7	12,575	65	167.7	3.1	799	9	15.7	△0.1
R3	72	△3	213	△15	12,641	66	175.6	7.9	785	△14	16.1	0.4
R4	71	△1	220	7	12,656	15	178.3	2.7	770	△15	16.4	0.3
R5	69	△2	215	△5	12,285	△371	178.0	△0.2	775	5	15.9	△0.6
R6	68	△1	208	△7	11,956	△329	175.8	△2.2	778	3	15.4	△0.5
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	7	-	600	△4	200.0	△1.3	71	-	8.5	△0.1
私立	65	△1	201	△7	11,356	△325	174.7	△2.3	707	3	16.1	△0.5
男	…	…	…	…	5,133	△42	…	…	357	-	…	…
女	…	…	…	…	6,823	△287	…	…	421	3	…	…

(1) 学校数（表 20）

- ・ 学校数は 68 校で、前年度より 1 校減少している。
- ・ 設置者別では、公立 3 校、私立 65 校で、前年度より私立は 1 校減少している。

(2) 学科数（表 20）

- ・ 学科数は 208 学科で、前年度より 7 学科減少している。
- ・ 設置者別では、公立 7 学科、私立 201 学科で、前年度より私立は 7 学科減少している。

(3) 生徒数（表 20、統計表 11）

- ・ 生徒数は 11,956 人で、前年度より 329 人減少している。
- ・ 設置者別では、公立 600 人、私立 11,356 人で、前年度より公立は 4 人、私立は 325 人減少している。
- ・ 男女別では、男子 5,133 人、女子 6,823 人で、前年度より男子は 42 人、女子は 287 人減少している。
- ・ 課程別では、高等課程 483 人、専門課程 11,473 人で、前年度より高等課程は 96 人、専門課程は 233 人減少している。
- ・ 分野別では、医療関係 3,191 人が最も多く、次いで文化・教養関係 2,930 人、工業関係 2,275 人となっている。
- ・ 1 校当たりの生徒数は 175.8 人で、前年度より 2.2 人減少している。

(4) 教員数（本務者）（表 20、統計表 11）

- ・ 教員数（本務者）は 778 人で、前年度より 3 人増加している。
- ・ 設置者別では、公立 71 人、私立 707 人で、前年度より私立は 3 人増加している。
- ・ 男女別では、男性 357 人、女性 421 人で、前年度より女性は 3 人増加している。
- ・ 教員（本務者）1 人当たりの生徒数は 15.4 人で、前年度より 0.5 人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は 54.1% で、前年度より 0.2 ポイント上昇している。

(5) 入学状況（令和5年度春期）及び卒業状況（令和5年3月）（表21）

- ・ 入学定員は8,556人で、前年度より845人減少している。
設置者別では、公立240人、私立8,316人で、公立は前年度と同数、私立は845人減少している。
- ・ 入学志願者は6,763人で、前年度より365人増加している。
設置者別では、公立400人、私立6,363人で、前年度より公立は110人減少し、私立は475人増加している。
- ・ 入学者数は5,530人で、前年度より351人増加している。
設置者別では、公立197人、私立5,333人で、前年度より公立は23人減少し、私立は374人増加している。
男女別では、男子2,448人、女子3,082人で、前年度より男子は247人、女子は104人増加している。
- ・ 入学率は81.8%で、前年度より0.8ポイント上昇している。
設置者別では、公立49.3%、私立83.8%で、前年度より公立は6.1ポイント上昇し、私立は0.4ポイント低下した。
- ・ 定員充足率は64.6%で、前年度より9.5ポイント上昇している。
設置者別では、公立82.1%、私立64.1%で、前年度より公立は9.6ポイント低下し、私立は10.0ポイント上昇している。
- ・ 卒業者数は5,313人で、前年度より426人増加している。
設置者別では、公立195人、私立5,118人で、前年度より公立は16人減少し、私立は442人増加している。
男女別では、男子2,273人、女子3,040人で、前年度より男子は263人、女子は163人増加している。
- ・ 卒業者のうち、関係分野に就職した者は3,339人で、前年度より112人減少している。
男女別では、男子1,279人、女子2,060人で、前年度より男子は23人、女子は89人減少している。

[表21] 入学定員・入学志願者・入学者・入学率・定員充足率・卒業者・関係分野就職者の推移

年度	入学定員		入学志願者		入学者		入学率		定員充足率		卒業者		関係分野就職者	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人						%				人			
R2	9,325	234	7,236	△117	5,715	△199	79.0	△1.4	61.3	△3.8	5,025	△348	3,359	△267
R3	9,281	△44	7,324	88	5,820	105	79.5	0.5	62.7	1.4	5,100	75	3,234	△125
R4	9,106	△175	7,196	△128	5,768	△52	80.2	0.7	63.3	0.6	4,987	△113	3,401	167
R5	9,401	295	6,398	△798	5,179	△589	80.9	0.8	55.1	△8.3	4,887	△100	3,451	50
R6	8,556	△845	6,763	365	5,530	351	81.8	0.8	64.6	9.5	5,313	426	3,339	△112
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	240	-	400	△110	197	△23	49.3	6.1	82.1	△9.6	195	△16
私立	8,316	△845	6,363	475	5,333	374	83.8	△0.4	64.1	10.0	5,118	442
男	2,448	247	2,273	263	1,279	△23
女	3,082	104	3,040	163	2,060	△89

注) 「関係分野就職者」とは、卒業者のうち関係分野に就職した者である。

10 各種学校

[表22] 学校数・課程数・生徒数・教員数（本務者）の推移

年度	学校数		課程数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		課程		人							
R2	23	△1	30	-	1,709	△392	74.3	△13.2	164	△5	10.4	△2.0
R3	23	-	29	△1	1,494	△215	65.0	△9.3	154	△10	9.7	△0.7
R4	21	△2	24	△5	1,352	△142	64.4	△0.6	142	△12	9.5	△0.2
R5	20	△1	24	-	1,590	238	79.5	15.1	145	3	11.0	1.4
R6	20	-	26	2	1,576	△14	78.8	△0.7	158	13	10.0	△1.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	20	-	26	2	1,576	△14	78.8	△0.7	158	13	10.0	△1.0
男	919	△38	84	11
女	657	24	74	2

(1) 学校数 (表 22)

- ・ 学校数は20校で、前年度と同数である。
- ・ 設置者は全て私立である。

(2) 課程数 (表 22)

- ・ 課程数は26課程で、前年度より2課程増加している。

(3) 生徒数 (表 22、統計表 12)

- ・ 生徒数は1,576人で、前年度より14人減少している。
- ・ 男女別では、男子919人、女子657人で、前年度より男子は38人減少し、女子は24人増加している。
- ・ 課程別では、各種学校のみにある課程（予備校、外国人学校等）1,195人が最も多く、次いで文化・教養関係229人、医療関係152人となっている。
- ・ 1校当たりの生徒数は78.8人で、前年度より0.7人減少している。

(4) 教員数（本務者） (表 22、統計表 12)

- ・ 教員数（本務者）は158人で、前年度より13人増加している。
- ・ 男女別では、男性84人、女性74人で、前年度より男性は11人、女性は2人増加している。
- ・ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は10.0人で、前年度より1.0人減少している。
- ・ 教員（本務者）に占める女性の割合は46.8%で、前年度より2.8ポイント低下している。

(5) 入学状況（令和5年度春期）及び卒業状況（令和5年3月） (統計表 12)

- ・ 入学者数は1,068人で、前年度より148人減少している。
男女別では、男子687人、女子381人で、前年度より男女ともにそれぞれ74人増加している。
課程別では、各種学校のみにある課程（予備校、外国人学校等）が1,195人と最も多く、次いで文化・教養関係229人、医療関係152人となっている。
- ・ 卒業者数は1,119人で、前年度より243人増加している。
男女別では、男子737人、女子382人で、前年度より男子は150人、女子は93人増加している。
課程別では、各種学校のみにある課程（予備校、外国人学校等）が735人と最も多く、次いで文化・教養関係327人、医療関係57人となっている。

Ⅲ 卒業後の状況調査

1 中学校

[表23] 状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C									
	卒業生数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者	対前年増減数			
	人															
R2	24,977	△666	24,661	△644	117	-	51	△20	20	4	23	3	△15	5	△9	
R3	24,403	△574	24,135	△526	79	△38	56	5	9	△11	24	2	-	21	16	
R4	25,021	618	24,761	626	112	33	25	△31	4	△5	13	3	△10	5	△16	
R5	25,137	116	24,845	84	104	△8	33	8	11	7	13	5	2	4	△1	
R6	24,975	△162	24,634	△211	107	3	40	7	8	△3	23	3	8	6	2	
国立	403	△5	401	△7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公立	22,013	△215	21,688	△251	104	1	40	7	8	△3	23	3	8	6	2	
私立	2,559	58	2,545	47	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	12,623	△270	12,452	△289	42	5	28	3	6	△3	16	3	5	3	1	
女	12,352	108	12,182	78	65	△2	12	4	2	-	7	-	3	3	1	

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数
	人											
	%											
R2	146	△4	2	2	-	△3	2	△7	98.7	0.1	0.2	△0.1
R3	133	△13	-	△2	-	-	1	△1	98.9	0.2	0.1	△0.0
R4	121	△12	2	2	1	1	1	-	99.0	0.1	0.1	△0.1
R5	153	32	2	-	1	-	5	4	98.8	△0.1	0.1	0.0
R6	194	41	-	△2	1	-	2	△3	98.6	△0.2	0.1	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	99.5	△0.5	-	-
公立	181	30	-	△2	1	-	2	△3	98.5	△0.2	0.2	0.0
私立	13	11	-	-	-	-	-	-	99.5	△0.4	-	-
男	101	13	-	△2	1	-	2	-	98.6	△0.2	0.2	0.0
女	93	28	-	-	-	-	-	△3	98.6	△0.2	0.1	0.0

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)平成30年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表23、統計表13)

- ・ 卒業生数は24,975人で、前年度より162人減少している。
- ・ 設置者別では、国立403人、公立22,013人、私立2,559人で、前年度より国立は5人、公立は215人減少し、私立は58人増加している。
- ・ 男女別では、男子12,623人、女子12,352人で、前年度より男子は270人減少し、女子は108人増加している。
- ・ 卒業生数のうち特別支援学級の卒業生は、664人である。

(2) 高等学校等進学者数（表 23、表 24、統計表 13、統計表 14）

- ・ 高等学校等進学者数は 24,634 人で、前年度より 211 人減少している。
- ・ 設置者別では、国立 401 人、公立 21,688 人、私立 2,545 人で、前年度より国立は 7 人、公立は 215 人減少し、私立は 47 人増加している。
- ・ 男女別では、男子 12,452 人、女子 12,182 人で、前年度より男子は 289 人減少し、女子は 78 人増加している。
- ・ 高等学校等進学者率は 98.6% で、前年度より 0.2 ポイント低下している。
男女別では、男女ともに 98.6% で、前年度よりそれぞれ 0.2 ポイント低下している。
- ・ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程 22,099 人、定時制課程 452 人、通信制課程 1,537 人、高等専門学校 338 人、特別支援学校高等部 208 人である。
- ・ 高等学校等進学者数のうち特別支援学級からの進学者は、600 人である。

[表24] 高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
R2	24,661	△644	22,733	△641	481	△25	886	31	-	△1	349	4	212	△12
R3	24,135	△526	22,232	△501	411	△70	969	83	-	-	340	△9	183	△29
R4	24,761	626	22,640	408	385	△26	1,185	216	-	-	338	△2	213	30
R5	24,845	84	22,499	△141	429	44	1,374	189	-	-	326	△12	216	3
R6	24,634	△211	22,099	△400	452	23	1,537	163	-	-	338	12	208	△8
国立	401	△7	383	△8	-	△1	4	△2	-	-	10	3	4	1
公立	21,688	△251	19,238	△433	448	28	1,472	154	-	-	326	9	204	△9
私立	2,545	47	2,478	41	4	△4	61	11	-	-	2	-	-	-
男	12,452	△289	11,208	△296	222	△1	644	15	-	-	243	△13	135	6
女	12,182	78	10,891	△104	230	24	893	148	-	-	95	25	73	△14

(3) 専修学校等入学者数（表 23、統計表 13）

- ・ 専修学校等入学者数は 107 人で、前年度より 3 人増加している。
- ・ 設置者別では、国立 2 人、公立 104 人、私立 1 人で、前年度より、国立は 2 人、公立は 1 人増加し、私立は同数である。
- ・ 男女別では、男子 42 人、女子 65 人で、前年度より男子は 5 人増加し、女子は 2 人減少している。
- ・ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校（高等課程）進学者 63 人、専修学校（一般課程）入学者 14 人、各種学校入学者 26 人、公共職業能力開発施設等入学者 4 人である。

(4) 就職状況 (表 23、統計表 13、統計表 15)

- ・ 就職者数 (卒業者のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者 (再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者 (再掲)」のこと。以下同じ。) は34人である。
- ・ 就職者数の内訳は、自営業主等8人、無期雇用労働者23人、左記A・Bのうち就職している者 (再掲) 1人、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者 (再掲) 2人である。
- ・ 就職率 (卒業者のうち就職者数の占める割合。) は0.1%で、前年度と同じである。
男女別では、男子0.2%、女子0.1%で、前年度より女子は0.1ポイント上昇している。
- ・ 就職者数を産業別にみると、最も多いのが第2次産業の20人で、次いで第3次産業の9人、第1次産業の1人となっており、左記以外・不詳は4人である。
- ・ 就職者数のうち、広島県内への就職者数は30人で、広島県外への就職者数は4人である。

(5) 左記以外の数 (表 23)

- ・ 左記以外の者の数は194人で、前年度より41人増加している。
- ・ 設置者別では、公立181人、私立13人で、前年度より公立は30人、私立11人増加している。
- ・ 男女別では、男子101人、女子93人で、前年度より男子は13人、女子は28人増加している。

(6) 不詳・死亡の者の数 (表 23)

- ・ 不詳・死亡の者の数は0人で、前年度より2人減少している。

2 義務教育学校

[表25] 状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C									
	卒業生数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者	対前年増減数			
	人															
R2	177	10	177	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R3	164	△13	164	△13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4	217	53	216	52	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-
R5	288	71	285	69	1	1	1	-	1	1	-	-	△1	-	-	-
R6	280	△8	277	△8	1	-	-	△1	-	△1	-	-	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	280	△8	277	△8	1	-	-	△1	-	△1	-	-	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	150	△5	147	△6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	130	△3	130	△2	-	-	-	△1	-	△1	-	-	-	-	-	-

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数
	人											
	%											
R2	-	△1	-	-	-	-	-	...	100.0	0.6	-	-
R3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
R4	-	-	-	-	-	-	-	-	99.5	△0.5	0.5	0.5
R5	1	1	-	-	-	-	-	-	99.0	△0.6	0.3	△0.1
R6	2	1	-	-	-	-	-	-	98.9	△0.0	-	△0.3
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	2	1	-	-	-	-	-	-	98.9	△0.0	-	△0.3
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	2	1	-	-	-	-	-	-	98.0	△0.7	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	0.8	-	△0.8

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表25)

- ・ 卒業生数は280人で、前年度より8人減少している。
- ・ 男女別では、男子150人、女子130人で、前年度より男子は5人、女子は3人減少している。

(2) 高等学校等進学者数(表25、表26、統計表13、統計表14)

- ・ 高等学校等進学者数は277人で、前年度より8人減少している。
- ・ 男女別では、男子147人、女子130人で、前年度より男子は6人、女子は2人減少している。
- ・ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程243人、定時制課程5人、通信制課程17人、高等専門学校9人、特別支援学校高等部3人である。
- ・ 高等学校等進学率は98.9%である。

[表26] 高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
R2	177	11	159	3	8	5	2	-	-	-	2	△2	6	5
R3	164	△13	153	△6	6	△2	2	-	-	-	1	△1	2	△4
R4	216	52	189	36	11	5	6	4	-	-	7	6	3	1
R5	285	69	254	65	7	△4	13	7	-	-	8	1	3	-
R6	277	△8	243	△11	5	△2	17	4	-	-	9	1	3	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	277	△8	243	△11	5	△2	17	4	-	-	9	1	3	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	147	△6	122	△17	3	-	12	4	-	-	7	5	3	2
女	130	△2	121	6	2	△2	5	-	-	-	2	△4	-	△2

3 高等学校

[表27] 状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E+F		A		B		C									
	卒業生数	対前年増減数	大学等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者				
	人															
R2	23,956	78	14,389	200	4,949	△120	3,768	100	767	…	2,798	94	…	109	…	
R3	23,127	△829	14,000	△389	4,954	5	3,358	△410	382	△385	2,758	102	△32	116	7	
R4	22,871	△256	14,301	301	4,671	△283	3,013	△345	129	△253	2,750	70	△40	64	△52	
R5	22,363	△508	14,163	△138	4,469	△202	2,830	△183	136	7	2,547	45	△228	102	38	
R6	21,704	△659	13,929	△234	4,242	△227	2,601	△229	53	△83	2,458	22	△112	68	△34	
国立	398	4	256	△26	…	…	1	△1	-	-	1	-	△1	-	-	
公立	13,234	△939	8,229	△434	…	…	1,950	△278	38	△80	1,876	14	△156	22	△42	
私立	8,072	276	5,444	226	…	…	650	50	15	△3	581	8	45	46	8	
全日	20,593	△690	13,707	△234	3,966	△226	2,329	△228	51	△82	2,240	14	△115	24	△31	
定時	309	△42	29	△12	89	△17	116	△19	-	△1	106	7	△13	3	△5	
通信	802	73	193	12	187	16	156	18	2	-	112	1	16	41	2	
男	11,084	△160	6,914	6	1,966	△86	1,711	△135	31	△33	1,627	14	△96	39	△6	
女	10,620	△499	7,015	△240	2,276	△141	890	△94	22	△50	831	8	△16	29	△28	

つづき

年度	D		E		F		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		大学等進学率		就職率			
	一時的な仕事に就いた者	対前年増減数	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		
	人															
R2	…	…	840	22	10	9	11	△10	3	…	60.1	0.6	14.9	△0.5		
R3	…	…	814	△26	1	△9	5	△6	24	21	60.5	0.5	13.7	△1.2		
R4	…	…	886	72	-	△1	1	△4	22	△2	62.5	2.0	12.7	△1.0		
R5	…	…	900	14	1	1	-	△1	17	△5	63.3	0.8	12.1	△0.6		
R6	…	…	932	32	-	△1	4	4	4	△13	64.2	0.8	11.6	△0.5		
国立	…	…	3	2	-	-	-	-	-	-	64.3	△7.3	0.3	△0.3		
公立	…	…	515	2	-	-	2	2	4	4	62.2	1.1	14.5	△0.6		
私立	…	…	414	28	-	△1	2	2	-	△17	67.4	0.5	7.4	0.3		
全日	…	…	591	△1	-	△1	3	3	4	△13	66.6	1.1	11.2	△0.5		
定時	…	…	75	6	-	-	1	1	-	-	9.4	△2.3	34.6	2.4		
通信	…	…	266	27	-	-	-	-	-	-	24.1	△0.8	14.2	0.6		
男	…	…	493	55	-	-	1	1	3	△8	62.4	0.9	15.0	△0.9		
女	…	…	439	△23	-	△1	3	3	1	△5	66.1	0.8	8.1	△0.1		

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科)・特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2)「大学等進学率」とは、卒業者に占める「大学等進学者」の割合のことである。

注3)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業者のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)通信制では、就業別及び一時的な仕事に就いた者を調査していない。

注6)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表27、統計表16)

- ・ 卒業生数は21,704人で、前年度より659人減少している。
- ・ 設置者別では、国立398人、公立13,234人、私立8,072人で、前年度より国立は4人、私立は276人増加し、公立は939人減少している。
- ・ 課程別では、全日制課程20,593人、定時制課程309人、通信制課程802人で、前年度より全日制は690人、定時制は42人減少し、通信制は73人増加している。
- ・ 男女別では、男子11,084人、女子10,620人で、前年度より男子は160人、女子は499人減少している。

(2) 大学等進学者数（表 27、表 28、統計表 16、統計表 17）

- ・ 大学等進学者数は 13,929 人で、前年度より 234 人減少している。
- ・ 設置者別では、国立 256 人、公立 8,229 人、私立 5,444 人で、前年度より国立は 26 人、公立は 434 人減少し、私立は 226 人増加している。
- ・ 課程別では、全日制課程 13,707 人、定時制課程 29 人、通信制課程 193 人で、前年度より全日制は 234 人、定時制は 12 人減少し、通信制は 12 人増加している。
- ・ 男女別では、男子 6,914 人、女子 7,015 人で、前年度より男子は 6 人増加し、女子は 240 人減少している。
- ・ 大学等進学者率は 64.2% で、前年度より 0.8 ポイント上昇している。
男女別では、男子 62.4%、女子 66.1% で、前年度より男子は 0.9 ポイント、女子は 0.8 ポイント上昇している。
- ・ 大学等進学者数の内訳は、大学（学部）13,362 人、短期大学（本科）493 人、大学・短期大学の通信教育部 14 人、大学・短期大学の別科 1 人、高等学校専攻科 59 人である。
- ・ 大学（学部）・短期大学（本科）へ入学を志願した者は 14,788 人で、前年度より 220 人減少し、本年 3 月卒業者に占める割合は 68.1% である。
男女別では、男子 7,498 人、女子 7,290 人で、本年 3 月卒業者のうち男子の 67.6%、女子の 68.6% が入学志願している。

[表28]大学等進学者の内訳の推移

年度	大学等進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学				高等学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	学部	対前年増減数	本科	対前年増減数	通信教育部	対前年増減数	別科	対前年増減数	専攻科	対前年増減数	高等部専攻科	対前年増減数
	人													
R2	14,389	200	13,450	85	840	70	14	-	6	3	79	42	-	-
R3	14,000	△389	13,182	△268	737	△103	13	△1	2	△4	66	△13	-	-
R4	14,301	301	13,538	356	675	△62	21	8	2	-	64	△2	1	1
R5	14,163	△138	13,439	△99	625	△50	20	△1	8	6	70	6	1	-
R6	13,929	△234	13,362	△77	493	△132	14	△6	1	△7	59	△11	-	△1
国立	256	△26	256	△26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	8,229	△434	7,852	△355	326	△73	9	△3	1	△3	41	1	-	△1
私立	5,444	226	5,254	304	167	△59	5	△3	-	△4	18	△12	-	-
全日	13,707	△234	13,166	△90	478	△130	3	1	1	△3	59	△11	-	△1
定時	29	△12	27	△11	2	1	-	△2	-	-	-	-	-	-
通信	193	12	169	24	13	△3	11	△5	-	△4	-	-	-	-
男	6,914	6	6,873	17	33	△4	6	△2	-	△5	2	1	-	△1
女	7,015	△240	6,489	△94	460	△128	8	△4	1	△2	57	△12	-	-

(3) 専修学校等入学者数（表 27、統計表 16）

- ・ 専修学校等入学者数は 4,242 人で、前年度より 227 人減少している。
- ・ 男女別では、男子 1,966 人、女子 2,276 人で、前年度より男子は 86 人、女子は 141 人減少している。
- ・ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校（専門課程）進学者 2,686 人、専修学校（一般課程）入学者 650 人、各種学校入学者 741 人、公共職業能力開発施設等入学者 165 人である。

(4) 就職者数(表 27、統計表 16、統計表 18、統計表 19、統計表 20)

- ・ 就職者数(「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の)は2,519人である。

就職者数の内訳は、自営業主等53人、無期雇用労働者2,458人、左記A・Bのうち就職している者(再掲)4人、左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)4人である。

- ・ 設置者別では、国立1人、公立1,920人、私立598人である。
- ・ 男女別では、男子1,662人、女子857人である。
- ・ 産業別内訳では、第1次産業は25人、第2次産業は1,244人、第3次産業は1,226人、左記以外の者は24人である。
- ・ 産業分類別では、「製造業」1,024人、「卸売業、小売業」276人、「建設業」216人の順に多い。

男女別では、男女ともに「製造業」が最も多く、男子就職者数の46.9%、女子就職者数の28.5%を占めている。

- ・ 職業分類別では、「生産工程従事者」970人、「サービス職業従事者」282人、「専門的・技術的職業従事者」266人、「事務従事者」228人の順に多い。

男女別では、男子は「生産工程従事者」が最も多く、男子就職者数の46.8%を占める。

女子では「事務従事者」が最も多く、女子就職者数の23.2%を占めている。

- ・ 就職率(卒業者のうち就職者の占める割合。)は11.6%である。
- 男女別では、男子15.0%、女子8.1%である。
- ・ 広島県外への就職者数(通信制を除く。)は296人で、就職者数の12.3%(前年度より0.3ポイント低下)を占めている。

地方別の内訳は、関東地方104人、中国・四国地方71人、近畿地方61人、中部地方36人、九州地方13人、北海道・東北地方3人、その他8人である。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数(表 27、統計表 16)

- ・ 左記以外、不詳・死亡の者の数は932人で、前年度より31人増加している。
- ・ 男女別では、男子493人、女子439人で、前年度より男子は55人増加し、女子は23人減少している。

4 中等教育学校

〔1〕前期課程

[表29] 状況別修了者数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		就職者等	C							
	修了者数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数		対前年増減数	自営業業主等	対前年増減数	常用労働者		臨時労働者	対前年増減数	
										無期雇用労働者	有期雇用労働者				
	人														
R2	118	△1	118	△1	-	-	-	-	-	...	-	-	...	-	-
R3	119	1	119	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4	120	1	119	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	116	△4	115	△4	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	115	△1	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	115	△1	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	46	9	46	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	69	△10	69	△10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)	対前年増減数	高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数		対前年増減数				対前年増減数		対前年増減数
	人											
R2	-	-	-	-	-	-	-	...	100.0	-	-	-
R3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
R4	-	-	-	-	1	1	-	-	99.2	△0.8	0.8	0.8
R5	1	1	-	-	-	△1	-	-	99.1	△0.0	-	△0.8
R6	-	△1	-	-	-	-	-	-	100.0	0.9	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	△1	-	-	-	-	-	-	100.0	0.9	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	△1	-	-	-	-	-	-	100.0	2.7	-	-
女	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業者のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 前期課程修了者数(表29)

- ・ 前期課程修了者数は115人で、前年度より1人減少している。
- ・ 男女別では、男子46人、女子69人で、前年度より男子は9人増加し、女子は10人減少している。

(2) 高等学校等進学者数(表29、表30、統計表13、統計表14)

- ・ 高等学校等進学者数は115人で、前年度と同数である。
- ・ 男女別では、男子46人、女子69人で、前年度より男子は10人増加し、女子は10人減少している。
- ・ 高等学校等進学率は100.0%である。
- ・ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校通信制課程2人、中等教育学校後期課程113人である。

[表30]高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年 増減数	全日制	対前年 増減数	定時制	対前年 増減数	通信制	対前年 増減数	全日制	対前年 増減数	総数	対前年 増減数	高等部	対前年 増減数
	人													
R2	118	△1	-	△3	-	-	1	1	117	1	-	-	-	-
R3	119	1	2	2	-	-	-	△1	117	-	-	-	-	
R4	119	-	3	1	-	-	3	3	113	△4	-	-	-	
R5	115	△4	1	△2	-	-	-	△3	114	1	-	-	-	
R6	115	-	-	△1	-	-	2	2	113	△1	-	-	-	
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公立	115	-	-	△1	-	-	2	2	113	△1	-	-	-	
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	46	10	-	-	-	-	1	1	45	9	-	-	-	
女	69	△10	-	△1	-	-	1	1	68	△10	-	-	-	

〔2〕 後期課程

[表31] 状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C								
	卒業生数	対前年増減数	大学等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数
	人										無期雇用労働者	有期雇用労働者	対前年増減数		
R2	109	109	89	89	17	17	3	3	-	...	3	-	...	-	...
R3	112	3	100	11	11	△6	1	△2	-	-	1	-	△2	-	-
R4	113	1	100	-	12	1	1	-	-	-	-	-	△1	1	1
R5	114	1	108	8	6	△6	-	△1	-	-	-	-	-	-	△1
R6	109	△5	90	△18	18	12	1	1	-	-	1	-	1	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	109	△5	90	△18	18	12	1	1	-	-	1	-	1	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	55	16	44	8	10	7	1	1	-	-	1	-	1	-	-
女	54	△21	46	△26	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		大学等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	人								%			
R2	-	-	-	-	-	-	-	...	81.7	81.7	2.8	2.8
R3	-	-	-	-	-	-	-	-	89.3	7.6	0.9	△1.9
R4	-	-	-	-	-	-	-	-	88.5	△0.8	-	△0.9
R5	-	-	-	-	-	-	-	-	94.7	6.2	-	-
R6	-	-	-	-	-	-	-	-	82.6	△12.2	0.9	0.9
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-	-	82.6	△12.2	0.9	0.9
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	△12.3	1.8	1.8
女	-	-	-	-	-	-	-	-	85.2	△10.8	-	-

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科)・特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2)「大学等進学率」とは、卒業生に占める「大学等進学者」の割合のことである。

注3)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表31、統計表16、統計表17)

- ・ 卒業生数は109人で、前年度より5人減少している。
- ・ 男女別では、男子55人、女子54人で、前年度より男子は16人増加し、女子は21人減少した。

(2) 大学等進学者数(表31、表32、統計表16、統計表17)

- ・ 大学等進学者数は90人で、前年度より18人減少した。
- ・ 男女別では、男子44人、女子46人で、前年度より男子は8人増加し、女子は26人減少した。
- ・ 大学等進学率は82.6%である。男女別では、男子80.0%、女子85.2%である。
- ・ 大学等進学者数の内訳は、大学(学部)90人である。
- ・ 大学(学部)、短期大学(本科)へ入学を志願した者は90人で、本年3月卒業生に占める割合は82.6%である。
- ・ 男女別では、男子44人、女子46人で、本年3月卒業生のうち男子の80.0%、女子の85.2%が入学志願している。

[表32] 大学等進学者の内訳の推移

年度	大学等進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学				高等学校		特別支援学校	
	総数	対前年 増減数	学部	対前年 増減数	本科	対前年 増減数	通信 教育部		別科		専攻科	対前年 増減数	高等部 専攻科	対前年 増減数
							対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数				
	人													
R2	89	89	87	87	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
R3	100	11	98	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4	100	-	100	2	-	△2	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	108	8	107	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	90	△18	90	△17	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	90	△18	90	△17	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	44	8	44	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	46	△26	46	△25	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 専修学校等入学者数 (表 31、統計表 16)

- ・ 専修学校等入学者数は 18 人で、前年度より 12 人増加した。
- ・ 男女別では、男子 10 人、女子 8 人で、前年度より男子は 7 人、女子は 5 人増加した。
- ・ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校（一般課程）入学者 2 人、各種学校入学者 16 人である。

5 特別支援学校

〔1〕 中学部

[表33] 状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		就職者等	対前年増減数	自営業主等	C			臨時労働者	対前年増減数	
	卒業生数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数				対前年増減数	無期雇用労働者	有期雇用労働者			対前年増減数
	人														
R2	188	4	187	5	-	-	-	-	-	...	-	-	...	-	...
R3	182	△6	182	△5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4	237	55	235	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	200	△37	199	△36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	225	25	221	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	225	25	221	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	163	22	160	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	62	3	61	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人											
R2	1	△1	-	-	-	-	-	...	99.5	0.6	-	-
R3	-	△1	-	-	-	-	-	-	100.0	0.5	-	-
R4	2	2	-	-	-	-	-	-	99.2	△0.8	-	-
R5	1	△1	-	-	-	-	-	-	99.5	0.3	-	-
R6	4	3	-	-	-	-	-	-	98.2	△1.3	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	4	3	-	-	-	-	-	-	98.2	△1.3	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	3	3	-	-	-	-	-	-	98.2	△1.8	-	-
女	1	-	-	-	-	-	-	-	98.4	0.1	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表 33、統計表 13)

- ・ 卒業生数は225人で、前年度より25人増加している。
- ・ 男女別では、男子163人、女子62人で、前年度より男子は22人、女子は3人増加している。

(2) 高等学校等進学者数(表 33、表 34、統計表 13、統計表 14)

- ・ 高等学校等進学者数は221人で、全員が特別支援学校高等部に進学し、前年度より22人増加している。
- ・ 男女別では、男子160人、女子61人で、前年度より男子は19人、女子は3人増加している。
- ・ 高等学校等進学率は98.2%で、前年度より1.3ポイント減少している。
男女別では、男子98.2%、女子98.4%で、前年度より男子は1.8ポイント低下し、女子は0.1ポイント上昇している。

[表34] 高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校		
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数	
	人														
R2	187	5	2	2	-	△1	-	-	-	-	-	-	185	4	
R3	182	△5	-	△2	-	-	1	1	-	-	-	-	181	△4	
R4	235	53	-	-	-	-	-	△1	-	-	-	-	235	54	
R5	199	△36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	199	△36	
R6	221	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221	22	
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公立	221	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221	22	
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	160	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	19	
女	61	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	3	

(3) 左記以外の者の数 (表 33、統計表 13)

- ・ 左記以外の者の数は4人で、前年度より3人増加している。
- ・ 男女別では、男子3人、女子1人で、前年度より男子は3人増加、女子は同数である。

[2] 高等部

[表35] 状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C									
	卒業生数	対前年増減数	大学等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者等	対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者			臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者	対前年増減数			
	人															
R2	440	9	1	△2	5	2	167	△9	-	...	84	83	...	-	...	
R3	410	△30	4	3	4	△1	144	△23	-	-	59	78	△30	7	7	
R4	399	△11	2	△2	6	2	121	△23	-	-	72	49	△16	-	△7	
R5	398	△1	4	2	8	2	111	△10	-	-	27	84	△10	-	-	
R6	365	△33	7	3	3	△5	118	7	-	-	36	82	7	-	-	
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公立	365	△33	7	3	3	△5	118	7	-	-	36	82	7	-	-	
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	225	△14	5	2	2	-	78	6	-	-	23	55	6	-	-	
女	140	△19	2	1	1	△5	40	1	-	-	13	27	1	-	-	

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		大学等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	%											
R2	267	18	-	-	-	-	7	...	0.2	△0.5	20.7	△20.2
R3	258	△9	-	-	-	-	26	19	1.0	0.7	20.7	0.0
R4	270	12	-	-	-	-	11	△15	0.5	△0.5	20.8	0.1
R5	275	5	-	-	-	-	37	26	1.0	0.5	16.1	△4.7
R6	237	△38	-	-	1	1	28	△9	1.9	0.9	17.8	1.7
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	237	△38	-	-	1	1	28	△9	1.9	0.9	17.8	1.7
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	140	△22	-	-	1	1	17	-	2.2	1.0	18.2	1.9
女	97	△16	-	-	-	-	11	△9	1.4	0.8	17.1	1.4

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科)・特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2)「大学等進学率」とは、卒業生に占める「大学等進学者」の割合のことである。

注3)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注4)令和2年度以降の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める割合である。

注5)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表35、統計表16)

- ・ 卒業生数は365人で、前年度より33人減少している。
- ・ 男女別では、男子225人、女子140人で、前年度より男子は14人、女子は19人減少している。

(2) 大学等進学者数(表35、表36、統計表16、統計表17)

- ・ 大学等進学者数は7人で、前年度より3人増加している。
- ・ 男女別では、男子5人、女子2人で、前年度より男子は2人、女子は1人増加している。
- ・ 大学等進学率は1.9%で、前年度より0.9ポイント上昇している。
男女別では、男子2.2%、女子1.4%で、前年度より男子は1.0ポイント、女子は0.8ポイント上昇している。
- ・ 大学等進学者数の内訳は、大学(学部)6人、大学・短期大学通信教育学部への進学者1人である。

[表36] 大学等進学者の内訳の推移

年度	大学等進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学				高等学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	学部	対前年増減数	本科	対前年増減数	通信教育部		別科		専攻科	対前年増減数	高等部専攻科	対前年増減数
							対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数				
	人													
R2	1	△2	-	△2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R3	4	3	3	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	△1
R4	2	△2	2	△1	-	-	-	-	-	-	-	△1	-	-
R5	4	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	7	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	7	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	5	2	4	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
女	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 専修学校等入学者数 (表 35、統計表 16)

- ・ 専修学校等入学者数は3人で、前年度より5人減少している。
- ・ 男女別では、男子2人、女子1人で、男子は前年度と同数、女子は5人減少している。
- ・ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校（専門課程）1人、公共職業能力開発施設等入学者2人である。

(4) 就職者数 (表 35、統計表 16、統計表 18、統計表 19)

- ・ 就職者数（「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A・Bのうち就職している者（再掲）」及び「左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者（再掲）」のことで、以下同じ。）は65人である。
- ・ 男女別では、男子41人、女子24人である。
- ・ 産業別内訳では、第2次産業35人、第3次産業26人である。
- ・ 産業分類別では、「製造業」35人、「卸売業、小売業」13人、「サービス業（他に分類されないもの）」6人の順に多い。

男女別では、男女ともに「製造業」が最も多く、男子就職者数の58.5%、女子就職者数の45.8%を占めている。

- ・ 職業分類別では、「生産工程従事者」34人、「運搬・清掃等従事者」10人、「左記以外の者」7人の順に多い。

男女別では、男女ともに「生産工程従事者」が最も多く、男子就職者総数の61.0%、女子就職者数の37.5%を占めている。

- ・ 就職率（卒業者のうち就職者数の占める割合。）は17.8%である。
- 男女別では、男子18.2%、女子17.1%である。

(5) 左記以外の者の数 (表 35、統計表 16)

- ・ 左記以外の者の数は237人で、前年度より38人減少している。
- ・ 男女別では、男子140人、女子97人で、前年度より男子は22人、女子は16人減少している。
- ・ 左記以外の者のうち、社会福祉施設等入所・通所者は、障害者支援施設等195人、医療機関2人である。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は110人である。

IV 不就学学齡児童生徒調査

1 不就学学齡児童生徒数

[表37]就学免除者・就学猶予者数、1年以上居所不明者数、学齡児童生徒死亡者数(前年度間)の推移

年度	就学免除者・就学猶予者						1年以上居所不明者		学齡児童生徒死亡者(前年度間)	
	計	対前年増減数	就学免除者	対前年増減数	就学猶予者	対前年増減数	1年以上居所不明者	対前年増減数	学齡児童生徒死亡者(前年度間)	対前年増減数
	人									
R2	8	△3	8	△3	-	-	-	△1	8	△7
R3	5	△3	5	△3	-	-	-	-	5	△3
R4	7	2	7	2	-	-	-	-	9	4
R5	6	△1	6	△1	-	-	-	-	19	10
R6	3	△3	2	△4	1	1	-	-	17	△2
6～11歳	-	△2	-	△2	-	-	-	-	10	-
12～14歳	3	△1	2	△2	1	1	-	-	7	△2
男	2	△2	2	△2	-	-	-	-	10	-
女	1	△1	-	△2	1	1	-	-	7	△2

(1) 就学免除者数(表 37、統計表 21)

- ・ 就学免除者数は3人で、前年度より3人減少している。
- ・ 年齢別では、学齡児童(6歳～11歳)が0人、学齡生徒(12歳～14歳)が3人で、前年度より学齡児童は2人減少し、学齡生徒は1人減少した。
- ・ 男女別では、男子2人、女子1人で、前年度より男子は2人減少し、女子は1人減少している。

(2) 学齡児童生徒死亡者数(前年度間)(表 37、統計表 21)

- ・ 学齡児童生徒死亡者数は17人で、前年度より2人減少している。
- ・ 年齢別では、学齡児童10人、学齡生徒7人で、学齡児童は前年度と同数、学齡生徒は前年度より2人減少している。
- ・ 男女別では、男子10人、女子7人で、男子は前年度と同数、女子は前年度より2人減少している。

[参考]

1 広島県の大学、短期大学、高等専門学校 の状況

(※ 大学、短期大学及び高等専門学校は文部科学省の直接調査)

[表38] 広島県内所在の大学、短期大学、高等専門学校の学校数・学生数・教員数

年度	大学			短期大学			高等専門学校				
	国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立		
学校数(校)	20	5	14	4	—	—	4	2	2	—	—
学生数(人)	59,829	7,482	36,489	1,083	—	—	1,083	1,598	1,598	—	—
男	32,682	3,340	19,571	52	—	—	52	1,219	1,219	—	—
女	27,147	4,142	16,918	1,031	—	—	1,031	379	379	—	—
教員数(人)	3,937	554	1,687	93	—	—	93	110	110	—	—
男	2,843	397	1,082	38	—	—	38	98	98	—	—
女	1,094	157	605	55	—	—	55	12	12	—	—

注) 「学生数」には、大学については学部学生のほか大学院、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含め、短期大学については本科学生のほか専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含んでいる。

(1) 大学 (表 38、付表 3)

- 学校数は 20 校である。
設置者別では、国立 1 校、公立 5 校、私立 14 校である。
- 学生数は 59,829 人である。
男女別では、男子 32,682 人、女子 27,147 人で、女子の割合は 45.4% (全国 44.7%) である。
- 県内高等学校等出身の県内大学入学者数は 7,422 人で、県内高等学校等出身の大学入学者 (14,540 人) に占める割合は 51.0% である。
男女別では、男子 3,714 人、女子 3,708 人で、県内高等学校等出身の大学入学者 (男子 7,650 人、女子 6,890 人) に占める割合は男子 48.5%、女子 53.8% である。
- 教員数 (本務者) は 3,937 人である。
男女別では、男性 2,843 人、女性 1,094 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 27.8% (全国 27.8%) である。

(2) 短期大学 (表 38、付表 3)

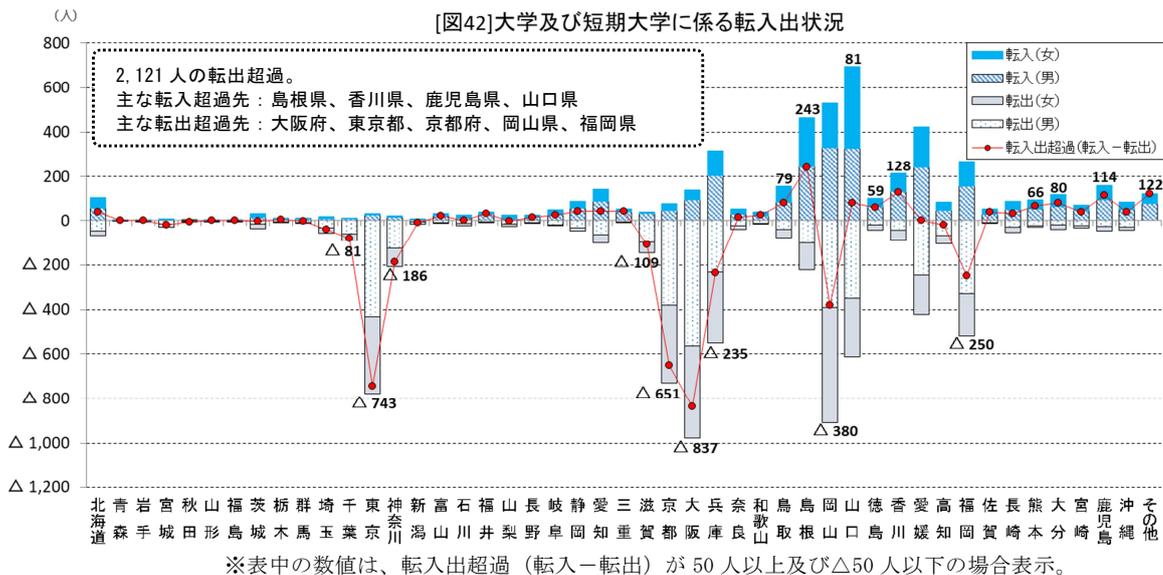
- 学校数は 4 校で、全て私立である。
- 学生数は 1,083 人である。
男女別では、男子 52 人、女子 1,031 人で、女子の割合は 95.2% (全国 85.9%) である。
- 県内高等学校等出身の県内短期大学入学者数は 359 人で、県内高等学校等出身の短期大学入学者 (533 人) に占める割合は 67.4% である。
男女別では、男子 16 人、女子 343 人で、県内高等学校等出身の短期大学入学者 (男子 42 人、女子 491 人) に占める割合は男子 38.1%、女子 69.9% である。
- 教員数 (本務者) は 93 人である。
男女別では、男性 38 人、女性 55 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 59.1% (全国 53.9%) である。

(3) 高等専門学校 (表 38)

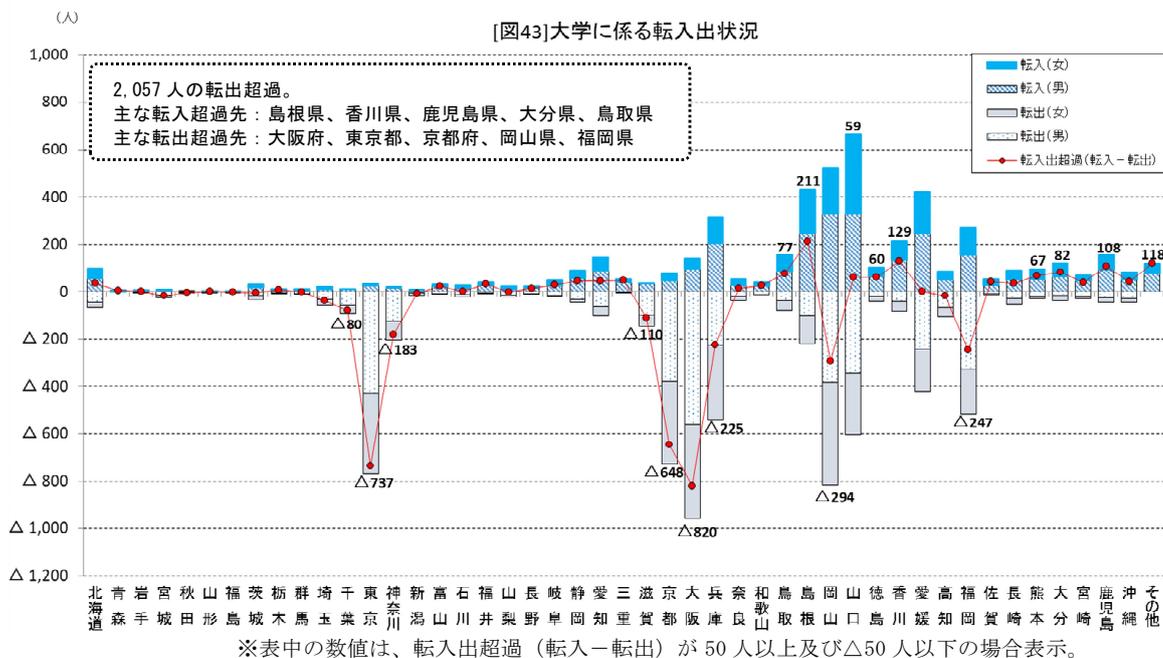
- 学校数は 2 校で、全て国立である。
- 学生数は 1,598 人である。
男女別では、男子 1,219 人、女子 379 人で、女子の割合は 23.7% (全国 23.4%) である。
- 教員数 (本務者) は 110 人である。
男女別では、男性 98 人、女性 12 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 10.9% (全国 12.6%) である。

2 大学、短期大学の転入出状況

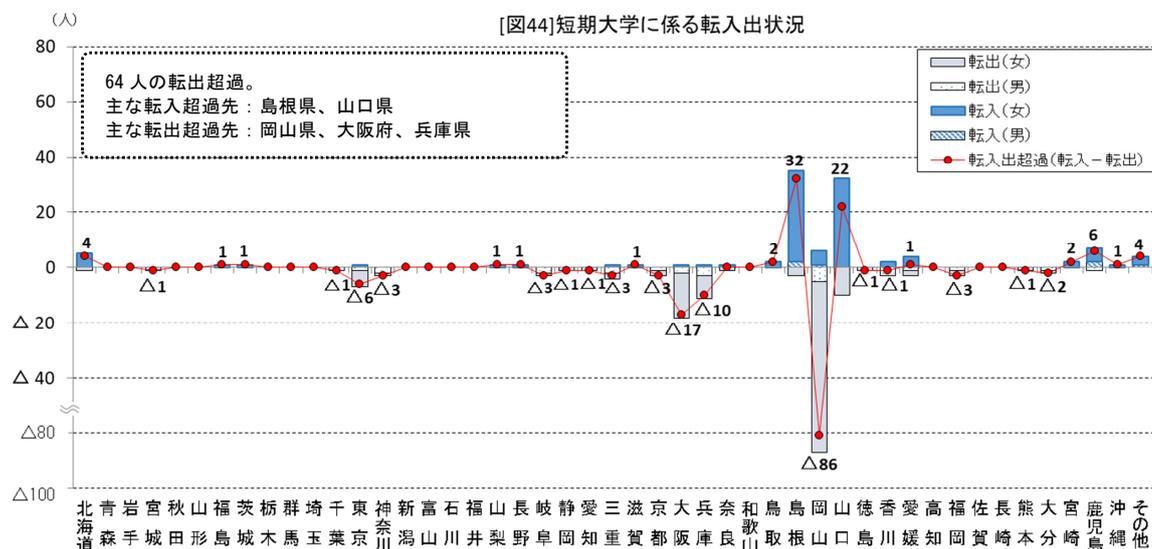
県外高等学校等出身者で県内大学、短期大学へ入学（転入）した者及び県内高等学校等出身者で県外の大学、短期大学へ入学（転出）した者の状況は次のとおり。[図42]、[図43]、[図44]



転入	計	5,171
	男	2,974
転出	計	△ 7,292
	男	△ 3,962
転入出超過	計	△ 2,121
	男	△ 988
	女	△ 1,133



転入	計	5,061
	男	2,968
転出	計	△ 7,118
	男	△ 3,936
転入出超過	計	△ 2,057
	男	△ 968
	女	△ 1,089



転入	計	110
	男	6
転出	計	△ 174
	男	△ 26
転入出超過	計	△ 64
	男	△ 20
	女	△ 44